令和2年度第1回

武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会

日 時:令和2年8月21日(金)

午後2時から

場 所:中部地区会館 401大集会室

	内容	
開会	○ 企画財政部長挨拶○ 委員自己紹介○ 事務局自己紹介	
報告	武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会設置要組及び運営要領について	網
議題	1 副会長の互選について2 令和元年度地方創生関連交付金活用事業評価について3 令和元年度末におけるまち・ひと・しごと創生総合戦略の進 状況について4 その他	捗
閉 会		

議題1 副会長の互選について

武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会設置要綱第4条第1項の規定により、副会長を委員の互選により選任する。

副会長		

(参考)

〇武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会設置要綱 - 抄 -

(会長及び副会長)

- 第4条 委員会に、会長及び副会長1人を置き、委員の互選により選任する。
- 2 会長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その 職務を代理する。

議題2 令和元年度地方創生関連交付金活用事業評価について

1	地方創生拠。	点整備交付金につ	ついて		
	別添資料3	「平成28年度	地方創生拠点整備交付金	(令和元年度実施)	に係る事
Ì	業実施結果報 ⁴	告」参照			

2 地方創生推進交付金について

別添資料4「令和元年度 地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告」

議題3 令和元年度末におけるまち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

○ 別添資料 5 「武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和元年度末進捗状況について」参照

義趙 4	その他	

○武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会設置要綱

平成27年4月9日訓令(乙)第58号

(設置)

第1条 武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「総合戦略」という。)を効果的かつ 効率的に推進するため、総合戦略推進委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事項)

- 第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。
 - (1) 委員会は、武蔵村山市まち・ひと・しごと創生に係る行政施策等について調査検討し、市長に報告する。
 - (2) 委員会は、市長の求めに応じ、総合戦略の実施状況について審議し、市長に報告する。 (組織)
- 第3条 委員会は、次に掲げるところにより市長が委嘱する委員7人をもって組織する。
 - (1) 識見を有する者 5人
 - (2) 公募による武蔵村山市民 2人

(会長及び副会長)

- **第4条** 委員会に、会長及び副会長1人を置き、委員の互選により選任する。
- 2 会長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

- 第5条 委員会の会議は、会長が招集する。
- 2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数の時は、会長の決するところによる。 (任期)
- 第6条 委員の任期は、委嘱の日からその日の属する年度の翌々年度の末日までとする。<u>ただし、</u> 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 2 委員は、再任されることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、企画財政部企画政策課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか委員会の運営に関し必要な事項は、会長が委員会に諮って定める。

附則

(施行期日)

1 この要綱は、平成27年4月9日から施行する。

(委員の任期の特例)

2 武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進推進委員会設置要綱の一部を改正する要綱(令和2年武蔵村山市訓令(乙)第161号)の施行の日の前日において、同要綱による改正前の第3条の規定により現に市長の委嘱を受けている委員の任期は、令和5年3月31日までとする。

武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会に関する運営要領

平成27年7月24日

武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会決定

(趣旨)

第1条 この要領は、武蔵村山市附属機関等の会議及び会議録の公開に関する指針(平成19年6月11日市長決裁。)第8条第2項の規定に基づき、武蔵村山市まち・ひと・しごと 創生総合戦略推進委員会(以下「推進委員会」という。)の公開に関し、必要な事項を定めるものとする。

(推進委員会の公開)

- 第2条 推進委員会は、公開とする。
- 2 公開は、市民に推進委員会を傍聴させることにより行う。

(傍聴手続)

第3条 推進委員会を傍聴しようとする者は、傍聴申込書(第1号様式)により推進委員会の 会長(以下「会長」という。)の承認を受けなければならない。

(許可しない者)

- 第4条 会長は、次のいずれかに該当する者の傍聴を認めないことができる。
 - (1) 銃器、棒等その他の人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれがある物を携帯している者
 - (2) 酒気を帯びていると認められる者
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、議事を妨害し、又は人に迷惑を及ぼすおそれがあると会長が認める者

(傍聴人の遵守事項)

- 第5条 傍聴人は、次に掲げる事項を守らなければならない。
 - (1) 会議中は、みだりに席を離れないこと。
 - (2) 飲食又は喫煙をしないこと。
 - (3) 会議における意見などに対して、賛否を表明し、又は拍手をしないこと。
 - (4) 私語、談笑等をしないこと。
 - (5) 写真等を撮影し、又は録音をしようとするときは、会長の許可を受けなければならないこと。
 - (6) 前各号に掲げるもののほか、推進委員会の議事進行を妨げ、又は品位を傷つける行為を

しないこと。

(傍聴人に対する指示等)

- 第6条 会長は、傍聴人に対し必要な指示をすることができる。
- 2 会長は、傍聴人が前項の指示に従わないときは、退場を命ずることができる。 (会議録)
- 第7条 会議録は、発言の要旨を記載したものとする。
- 2 作成した会議録は、次の会議の際、推進委員会の委員の承認を得て確定する。
- 3 会議録は、その全部を公開する。

(委任)

第8条 この要領に定めるもののほか必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

傍聴申込書

第 号

												平成	年	F]	日
武蔵村口	山市まち	·	ひと	・しご	と創生約	総合単	践略推	推進	委員	会会	長	殿				
								申	込者	氏名						
会議を修	房聴 した	_ \ \	のて	ご、下記(のとおり	り申し	し込み	ょま、	す。							
	н															
	氏	名														
傍 聴 者	住	所														
	連絡	先														
附属機関	等の名詞	称	第	回武蔵	対山市を	まち・	・ひと	<u>.</u>	しこ	と創	生総	8合戦略	推進す	奏員会		
開催	日日	時	平成	文 年	月	F	∃ ()	午	前・	午後	ź	時から)		
開催	場	所														
備	-	考														

傍聴承認書

第 号

													1.	
		氏	名											
傍	聴 者	住	所											
		連約	各先											
附属機関等の名称 第				第 回	武蔵村	山市ま	ち・ひ	と・	しごと	創生総	合戦略	各推進委員	員会	
開	催	日	時	平成	年	月	日 (()	午前	・午後		時から		
開	催	場	所											
備			考											
	上記のと	おり	会諱	炎の傍聴	を承認	します	0							
7	平成	年	月	日日										
					武蔵村	け山市ま	きち・て)と・	しごと	創生総	給合戦	略推進委	員会会	長

(日本工業規格A列4番)

傍 聴 者 心 得

- 1 会議中は、みだりに席を離れないこと。
- 2 飲食又は喫煙をしないこと。
- 3 会議における意見等に対して、賛否を表明し、又は拍手をしないこと。
- 4 私語、談笑等をしないこと。
- 5 写真等を撮影し、又は録音をしようとするときは、推進委員会の会長の許可を受けなければならないこと。
- 7 その他会議の議事進行を妨げ、又は品位を傷つける行為をしないこと。
- 8 武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会の会長の指示に従うこと。

平成28年度 地方創生拠点整備交付金(令和元年度実施)に係る事業実施結果報告 (交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

(24137323737472	· 例 一								
本交付金の目的	総合戦略に位置付けられ	、地域再生計画に記載され	た自主的・主体的で先導						
	的な事業及びそれと一体と	なって整備される未来への	投資につながる施設の新						
	築、増築及び改築等の実施	に要する費用に充てるため)、国が地方公共団体に対						
	して交付金を交付すること	により、地方公共団体によ	る、地方の事情を尊重し						
	ながら、地方創生に資する	施設整備等の取組を進める	ことを目的とする。						
交付対象事業の名称	村山温泉「かたくりの湯	」 施設整備事業 総合戦	格該当ページ49、50						
基本目標	まちの魅力を向上させ、	まちの魅力を向上させ、新たな人の流れをつくる							
事業概要	村山温泉「かたくりの湯」をより魅力的な施設とし、温泉施設を活用したソ								
	フト事業との相乗効果によ	り、域外からの来訪者の回]遊性を高めて交流人口の						
	増加、域内の消費の増加を	・図る。							
実施内容	運動を生活習慣として取	り入れてもらえるよう多目	的ルームでの健康づくり						
	事業やプールを活用したブ	事業やプールを活用したプールプログラムを実施した。また、利用者累計35							
	0万人を達成した。								
事業費	246,606 千円								
	指標	令和元年度末実績値	令和2年度目標値						
			(令和元年度目標値)						
本事業におけるKPI	民間消費額(地域内ベー	RESAS による数値	1,850 億円						
	ス) ※事業開始前 1,464 億円	数値不明	(R元:1,800億円)						
	温泉施設収支額	△330万円	360 万円						
	※事業開始前△1,470万円		(R 元:240 万円)						
	市外からの休日の滞在人	RESAS による数値	86,000 人						
	口※事業開始前 82,000 人	データ入替により数値 変更	(R 元: 85,050 人)						
課題	①村山温泉「かたくりの湯	」の設備は経年劣化のため	の、毎年多額の修繕料を必						
	要としている。								
	②近隣市町村にも同様の温	L泉施設があり、来場者の増	別が伸び悩む。						
令和2年度事業予定	温泉と共に楽しみである	「食」について充実を図る) ₀						
	①かたくり御膳を季節ごと	に内容を変える。							
	②地元農家と協力し、地産	地消メニューを取り入れる)						
	③軽食の「テイクアウト」	を試験的に開始し、状況	に応じてテイクアウトメ						
	ニューを充実させる。								
外部有識者からの評価	地方創生への効果の有無	有・・	無						
意見									

●KPIの補足指標

指標	H28 年度実績	H29 年度実績	H30 年度実績	R 元年度実績	R2 年度目標
温泉施設来場者	190,608 人	6,208 人	158,958 人	155,744 人	200,000 人
数(市外から)	(115,419 人)	(3,873 人)	(102,220 人)	(107,375 人)	(120,000 人)
市外からの休日	17,321 人	17,188 人	16,951 人	16,445 人	18,604 人
の滞在人口					
※現 RESAS データより					

●資料

- ・「かたくりの湯」温泉入場者比較
- ・かたくりの湯 パンフレット

『かたくりの湯』温泉入場者比較

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
4	月	21, 362	22, 037	18, 346	16, 517	16, 679	15, 544	_	14, 377	14, 505	15, 050	15, 389	-	16, 112	13, 144
5	月	22, 756	21, 968	20, 347	19, 357	19, 505	18, 181	_	14, 542	15, 812	17, 143	16, 667	_	13, 967	13, 750
6	月	18, 820	20, 015	17, 726	15, 472	15, 491	15, 774	_	13, 714	13, 816	13, 874	13, 992	_	12, 002	12, 179
7 .	月	23, 333	21, 664	18, 611	17, 327	17, 371	18, 114	_	14, 831	14, 336	15, 328	16, 424	_	12, 388	12, 711
8 .	月	27, 593	25, 764	25, 078	22, 228	18, 600	20, 811	_	17, 576	18, 803	19, 207	18, 000	_	14, 160	15, 840
9 .	月	20, 845	22, 328	18, 336	17, 136	16, 040	16, 591	_	14, 388	11, 295	16, 136	15, 064	_	12, 585	13, 656
10	月	18, 671	17, 997	17, 111	15, 483	15, 618	15, 066	17, 432	13, 144	13, 175	14, 789	15, 037	_	11, 560	13, 142
11 .	月	19, 285	17, 888	17, 706	15, 427	15, 070	14, 206	14, 522	13, 442	14, 396	15, 637	14, 234	_	11, 757	12, 952
12	月	18, 579	18, 279	16, 747	14, 656	15, 558	15, 600	15, 412	14, 936	14, 581	15, 390	15, 264	_	12, 963	13, 571
1 .	月	24, 575	24, 589	21, 132	20, 357	20, 673	18, 513	17, 693	17, 271	17, 930	18, 293	18, 190	_	14, 964	15, 224
2	月	22, 007	18, 793	16, 714	15, 926	15, 634	14, 455	13, 673	11, 235	15, 040	14, 858	14, 875	_	12, 274	13, 329
3	月	23, 695	20, 118	18, 451	18, 100	11, 928	17, 424	15, 773	15, 522	16, 508	15, 889	17, 472	6, 208	14, 226	6, 246
合	at the	261, 521	251, 440	226, 305	207, 986	198, 167	200, 279	94, 505	174, 978	180, 197	191, 594	190, 608	6, 208	158, 958	155, 744
前年	比		96. 15%	90.00%	91. 91%	95. 28%	101. 07%	47. 19%	185. 15%	102. 98%	106. 32%	99. 49%	3. 24%	2560. 53%	97. 98%
前年増	減数	_	▲ 10,081	▲ 25, 135	▲ 18, 319	▲ 9,819	2, 112	▲ 105, 774	80, 473	5, 219	11, 397	▲ 986	▲ 185, 386	152, 750	▲ 3, 214

※平成24年4~同年9月は内部改修工事により休館

※平成30年3月23日リニューアルオープン

令和元年度 地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告

(交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

本交付金の目的	総合戦略に位置付けら	総合戦略に位置付けられた自主的・主体的で先導的な事業の実施に要する						
	費用に充てるため、国が対	地方公共団体に対して交付	金を交付することにより、					
	地方公共団体による、そ	れぞれの地域の実情に応し	じた地方創生に資する事業					
	の効率的かつ効果的な実施	施を図ることを目的とする	0 0					
交付対象事業の名称	武蔵村山の魅力づくり	推進事業~魅力教え 総合	が戦略該当ページ 44、49					
	隊及び魅力マイスター制力	度の活用~						
基本目標	まちの魅力を向上させ、	、新たな人の流れをつくる)					
事業概要	市の魅力を SNS 等で発信する「魅力教え隊」制度に加え、市の伝統文化の							
	技をもつ人等を「魅力マ	イスター」として認定する	る制度を新設し、市の魅力					
	を広く発信することで、	来訪者の増加、ひいては下	方内経済の活性化につなげ					
	る。							
実施内容	・第1回魅力づくり推進協議会開催(5月14日)							
	・第2回魅力づくり推進協議会開催(9月27日)							
	・モニターツアーの実施	(11月16日・17日)						
	・モニターツアーコース・	マップ制作						
	・むむちゃんクリアファ	イル制作						
事業費	2,000 千円							
	指標	令和元年度末実績値	令和元年度目標値					
本事業におけるKPI	モニターツアーの市外	48 人	80 人					
	からの応募者数※事業開始	※ツアー 2回						
	前 103 人 (ツアー8 回無料)	(参加費 1,000円)						
	「#MM 教え隊」市以外	258 回	550 回					
	からの SNS 発信数							
	※事業開始前 66 回							
	市外からの休日の滞在	16,445 人	18,254 人					
	人口※事業開始前 17,284 人							
課題	市内に観光スポットが多	数あるが、来訪者数は横り	ばい状態なので広報に力を					
	入れて来訪者が増となる。	よう努める必要がある。						
令和 2 年度事業予定	令和2年度に設立した武	蔵村山観光まちづくり協会	会の事業として魅力マイス					
			崖時には市と協力しながら					
	PRに努め、集客増を目1							
外部有識者からの評価	地方創生への効果の有無	有・	無					
意見	地方創生への効果の有無・無無							
思允								
忌 允								

●KPIの補足指標

指標	事業開始前	H30 年度実績	R元年度実績	R元年度目標
情報発信アプリ		614 件	463 件	280 件
のダウンロード				
数				

東京の魅力が、ここにもあります。

氏原材山の魅力体 日帰りモニタ

各回限定 先着25名さま 参加料 **1.000**¤

東京狭山みかん (小林みかん園) お土産付! (武蔵村山市提供)











魅力マイスタ-と"ムサブラ"しな がら武蔵村山の魅 力の謎を解き明 かします。



日時·行程

所要時間:約8時間(休憩含む) 利用バス: 西武観光バス

①1回目:令和元年11月16日(土)午前9時~午後5時

9:00 | JR立川駅集合

10:00 みかん狩り(小林農園)

11:30 昼食(村山かてうどん)

12:30 モノづくり魅力体験(甲冑着付体験/みかん入りスコーンづくり)

15:30 軽便鉄道廃線跡・トンネル群の見学

17:00 村山温泉「かたくりの湯」※

〈入浴が可能(別途、入場料がかかります)〉

18:00 立川駅解散

②2回目:令和元年11月17日(日)午前9時~午後4時30分

9:00 JR立川駅集合

10:00 村山かてうどん作り体験(含む昼食)

13:30 みかん狩り(小林農園)

15:00 軽便鉄道廃線跡・トンネル群の見学

村山温泉「かたくりの湯」※

〈入浴が可能(別途、入場料がかかります)〉

17:30 立川駅解散

○各地で魅力マイスターのガイドがあります。

○コースは、徒歩での移動になりますので、動きやすい服装、歩きやす い靴でご参加ください。

○天候等によりコースの一部変更や予定時間が前後する場合があります。 ※入浴をされる方は、かたくりの湯にて解散。各自でのお帰りとなります。

募集要項

武蔵村山PRキャラクター「むむちゃん」

●旅行代金:各コースとも1,000円(3歳以上)

●募集人数:各コースとも25名(先着順)

●申込締切:令和元年11月11日(月)

●対象者:本ツアーで体験した武蔵村山の魅力を、武蔵村山 市オリジナルアプリ「ムサブラ」を用いて情報発 信していただける方。なお、ツアー当日は、アプリ が使えるスマホ等をお持ちください。

※インストール方法は、ツアー中にご案内いたします。

※モニターの皆さまには旅行中、アンケート用紙(A4表裏1枚 程度)をご記入いただきます。

●最少催行人員:各コースとも10名

●申込方法:①FAX申込/裏面の「モニターツアー申込み書」 に必須事項をご記入の上、

FAX (03-6743-7188)ください。

②西武トラベルホームページより申込

下記のQRコードまたは

西武トラベル 検索 ▽

より申込ください。

●食事条件:各コースとも昼食1回

●添乗員:各コースとも1名同行します。



伝えたい!一誇れる武蔵村山の魅力を広めよう!

「武蔵村山の魅力教え隊」とは・・・

日常において、市のイベントや武蔵村山の良いところをSNS等を 通じて写真やコメント等で発信する武蔵村山好きの人たちの集ま り。市の魅力をツイッターやフェイスブックにハッシュタグ「#MM 教え隊」を付けて投稿してください。また、ラインや口コミ、電話や 井戸端会議でどんどん広めてください。武蔵村山の魅力を発信し ている人・したい人に、隊員証(隊員メンバー入り)を発行します。

くわしくは▶ 秘書広報課(042-565-1111)内線314・315まで

「武蔵村山の魅力マイスター」とは・・・

武蔵村山の魅力(自然・歴史・伝統工芸・ 食文化等)の知識や技を持つ匠や伝承す る力を保有している方(自他推薦による団 体・個人)を「武蔵村山の魅力マイスター」 として称号を授与し、その栄誉を

武蔵村山の 魅力教え隊& 魅力マイスタ

〈わし〈は〉 観光課(042-565-1111)内線224・225まで

旅行条件(要旨)

お申込みの際には旅行条件書(全文)をお受取りいた だき、必ず内容をご確認の上お申込みください。

- ■募集型企画旅行契約/この旅行は、西武トラベル株式会社 (以下当社という)が企画・実施するもので、お客さまは当社 と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」という)を締結す ることになります。契約事項については、当社の旅行業約 款、旅行条件書、パンフレットおよび別途お渡しする旅行日 程表によります。
- ■旅行契約の申込みと契約の成立/当社所定の申込書に所定 事項を記入の上、旅行代金を受理したときに成立します。通 信契約の場合、当社が予約の承諾の旨を通知した翌日から起 算して3日以内に申込書と旅行代金を提出していただきま す。この期間内に旅行代金が提出されない場合は、予約がな かったものと取扱います。

旅行開始日に介助者の同行など特別な配慮を要するお客さ まは、その旨をお申出ください。当社は可能な範囲内でこれに応じます。なお、そのための要した費用はお客さまのご負担と

- ■旅行代金に含まれるもの/日程に記載の交通費、食事代、 添乗員同行費用、消費税等諸税
- ■旅行契約の解除・払戻し/お客さまは次に定める取消料を お支払いいただくことにより、いつでも旅行契約を解除する ことができます。この場合、すでに収受している旅行代金(あ るいは申込金)から所定の取消料を差引いて払戻しいたし

◇募集型企画旅行の取消料

	旅行契約の解除日	取消料(お一人)
旅行開始日の	21日目にあたる日(日帰り旅行 11日目)以前の解除	無料
前日から 起算して さかのぼって	20日目にあたる日(日帰り旅行 10日目)から8日目にあたる日まで	旅行代金の20%
C13 45/65 5 C	7日目にあたる日以降の解除	旅行代金の30%
	旅行開始日の前日の解除	旅行代金の40%
	旅行開始当日の解除	旅行代金の50%
	旅行開始後の解除または 無連絡不参加	旅行代金の100%

称えます。

- ■当社による旅行契約の解除(次の場合当社は旅行契約を解除するこ とがあります)
- ・旅行代金を期日までにお支払いいただけないとき。・申込条件の不適合。 ・病気、団体行動への支障その他により旅行の円滑な実施が不可能なとき。 ・天災地変、戦乱、暴動、運送・宿泊機関などのサービス提供の中止、 官公署の命令そのほかの当社の関与し得ない事由により契約書面に 記載した旅行日程に従った旅行の安全かつ円滑な実施が不可能となり、または不可能となるおそれが極めて大きいとき。
- ■特別補償/当社はお客さまが当旅行参加中に、急激かつ偶然な外来 の事故により生命、身体または手荷物に被った一定の損害について、 別紙の旅行業約款特別補償規定に従いお客さままたはその法定相続 人に死亡補償金、後遺障害補償金および入院見舞金を支払います
- ■お客さまの責任/お客さまの故意または過失により当社が損害を 被ったときは、当該お客さまは損害を賠償しなければなりません。お 客さまは、当社から提供される情報を活用し、契約書面に記載された 旅行者の権利・義務そのほか企画旅行計画の内容について理解する

面に記載された旅行サービスについて、記載内容と異なるものと認 識したときは、旅行先で速やかに当社または旅行サービス提供者に その旨を申出なければなりません。

- ■個人情報の取扱いについて/当社および受託旅行会社は、旅行申込みの際に提出された申込書に記載された個人情報について、お客さ まとの間の連絡のために利用させていただくほか、お客さまがお申込 いただいた旅行において運送・宿泊機関などの提供するサービスの 手配およびそれらのサービスの受領のための手続に必要な範囲内で 利用させていただきます。このほか、当社および旅行取扱店では、
 - (1)会社および会社と提携する企業の商品やサービス、キャンペー のご案内。 (2)旅行参加後のご意見やご感想の提供のお願い。 (3)アンケートのお願い。 (4)特典サービスの提供。 (5)統計資料の作成。

にお客さまの個人情報を利用させていただくことがあります。また、当 社は、当社が保有するお客さまの個人データのうち、氏名、住所、電話 番号またはメールアドレスなどのお客さまへのご連絡にあたり必要と なる最小限の範囲のものについて、当社グループ企業との間で、共同 して利用させていただく場合があります。当社グループ企業は、それ ぞれの企業の営業案内、催し物内容などのご案内にこれを利用させ ていただきます。

- ■お客さまの状況によっては、当初の手配内容に含まれていない特別 な配慮・措置が必要となる可能性がございます。詳細は、「旅行条件 書」の「申込条件」をご確認の上、特別な配慮・措置が必要となる可能 性がある方につきましては、ご相談させていただきますので、旅行申 込み時に必ずお申し出ください。なお、特別な配慮・措置に必要な費 用はお客さまの負担となりますので、ご了承ください。
- ●この旅行条件は2019年9月1日を基準としております。また旅行代 金は2019年9月1日現在有効なものとして公示されている運賃・適 用規則を基準として算出しております。
- ように努めなければなりません。お客さまは、旅行開始後に、契約書●当社はいかなる場合も旅行の再実施はいたしません。

◆イベント主催 武蔵村山市

◆旅行企画・実施

観光庁長官登録旅行業第139号

西武トラ

〒105-0003 東京都港区西新橋1-14-2





◆お問合せ·お申込み 西武トラベル株式会社

)内の名前は旅行業務取扱管理者です。

年

月

日

●戦略事業部(田島一政)東京都港区西新橋1-14-2

ご出発の前日から起算して7営業日前までご予約を承っております。

03-6743-7173 営業時間/9:30A.M.~5:30P.M.(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)

●池袋営業所(町田 尚子) 東京都豊島区南池袋1-28-1 西武鉄道池袋駅1階改札内

03-3981-8186 営業時間 / 10:00A.M.~6:30P.M.(月~金)、10:00A.M.~5:30P.M.(土·日·祝日)

●高田馬場営業所(小久保 智子) 東京都新宿区高田馬場1-35-3 エミオ-スタイル- (BIG BOX高田馬場2階)

03-3205-8186 営業時間/10:00A,M,~6:30P,M,(月~金)、10:00A,M,~6:00P,M,(土·日·祝日)

総合旅行業務取扱管理者とは、お客さまの旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく左記の総合旅行業務取扱管理者にお尋ねください。

申込日:

武蔵村山の魅力体験日帰りモニターツアー申込書

西武トラベル株式会社 戦略事業部 FAX:03-6743-7188

記に記載の旅行条件に同意します。また、旅行手配及びお客さまとの連絡等のために必要な範囲内での運送、本ツアーで提携の団体・企業への個人情報の提供について同意の上、以下の旅行に申し込みま	す。
個人情報保護の観点から番号の押し間違いにご注意いただき、FAX送信後は大変お手数ですが、03-6743-7173まで着信確認をお願いします。	

ご希望日を 選択ください	□ 令和元年11月	16日(土)	□ 令和	元年11月17日	(日)	集台	合場所	f		駅集合		〕武蔵	まけ山 て	卜 役	所
フリガナ															
お名前 (代表者)							年	齢		歳	性	別	男	•	女
	= −														
住所															
	電話番号:	_		_		携带	番号	1 :	-	-		_			
フリガナ															
お名前 (同行者)							年	齢		歳	性	別	男	•	女
フリガナ															
お名前 (同行者)							年	齢		歳	性	別	男	•	女
ツアー内容の 情報発信方法	□ ツイッター	□ フェイス	ブック	□ インスタク	ブラム [イン		その他(·)
備老															



アプリ登場!マイスターの皆さん



独山丘陸さんぽフォトグラファー 坂下 智浩氏



協働推准部長 山田 義高氏



おさし村山四季彩シフォン販売 藤島 孝子氏



網代園製茶所 網代 進氏



村山織物協同組合理事長 高山 金之助氏



武士団·村山党 貞 儀憲氏

武蔵村山市の見どころ紹介

◆武蔵村山市について

狭山丘陵は小さな峰が連なっていることから「群山」と呼ば れ、それが「村山 | の地名に転訛したといわれています。中世の 時代に狭山丘陵周辺地域村山郷を根拠としていた武士団も村 山党を名乗っており、村山郷が市名の由来となっています。

江戸時代には中藤・横田・三ツ木・岸の4ヶ村が存在し、大正 6(1917)年に村山村、昭和29(1954)年に村山町、昭和45 (1970)年に武蔵村山市となりました。

令和元年11月現在の人口は約72,000 人で、狭山丘陵の自然に恵まれた緑豊か な都心のベッドタウンとなっています。



写真提供: 坂下 智浩

アプリ登場!マイスターの皆さん





小林農園(みかん園) 小林 卓矢氏



むさしの化石塾代表 福嶋 徹氏



村山うどんの会会長 志々田 陽介氏

◆市立野山北公園

武蔵村山市が管理する部分と東京都が管理する部分 とに分かれていますが、公園エリアとしては都立野山 北・六道山公園の範囲に含まれています。園内には、 プールや釣り池のほか、フィールドアスレチックが体験

できる冒険の森・あそ びの森があります。

また、春に咲くかた くりの花の群生地に は大勢の人が訪れて



◆村山温泉「かたくりの湯」

村山温泉「かたくりの湯」は、武蔵村山市の観光資源 として平成14年4月にオープンした天然温泉です。

泉とスパゾーンを備 えた施設は、武蔵村 山市を代表するス ポットとして市内外 の多くの方に親しま れています。



◆大将山

写真は、大将山から望む富士山です。このとおり大将山 からは広い範囲の眺望がきくので、昔、太田道灌が敵の 長尾景春方の二宮城を攻めるために村山の陣を構えた 場所とも伝えられています。



◆武蔵村山市立歴史民俗資料館

を市民の手で創造するために活動しています。

常設展示では、武蔵村山の自然、歴史、民俗について 詳しく紹介しています。丘陵(ヤマ)と台地(ハラ)で営 まれてきた人々の歴史や民俗などについて詳しく知る ことができます。狭山丘陵で見つかった化石の標本や 軽便鉄道のコーナーも必見です。

開館時間/ 9:00~17:00 毎月第1月曜日、毎月第3 水曜日、年末年始 電話/042(560)6620

●東京狭山みかん

みかん」の味を楽しんでいます。

武蔵村山市にはみかん栽培に適した狭山丘陵南側の

斜面が広がっており、昭和30年代の始めから宮川早生 という品種のみかん栽培が始まり、半世紀以上の歴史

があります。市内のみかん園では、毎年11月上旬から下

旬にかけて都内近郊から多くの家族連れなどがみかん

狩りに訪れ、市場に出回らない幻のブランド「東京狭山

◆村山かてうどん http://www.m-udon.com

末期に中藤村の陰陽師であった指田摂津が書き遺した『指

田日記』の中にも度々うどんを食していたことが記されてい ます。平成18(2006)年、市内の有志が「村山うどんの

会」を結成し、「村山うどん」を発信して武蔵村山の魅力

武蔵村山の地域と"うどん"との関わりは古く、江戸時代



村山うどんの会ホームページ

◆ダイダラボッチの井戸

武蔵村山にはダイダラボッチという巨人伝説が伝えら れており、市内にはダイダラボッチが歩いた足跡とされる 井戸が残っています。

武蔵村山を代表するイベントとして毎年10月下旬に開

催している「村山デエ ダラまつり」は、この 伝説の巨人にちなん だ大きなネブタの山車 が登場し、会場を盛り 上げています。



●里山民家

狭山丘陵周辺に実在した江戸時代の民家を新築・復 元した「母屋」を中心に「蔵」、「納屋」、「作業小屋」など があり、里山を満喫できる、楽しいイベントを実施して います。「茅葺き屋根」や「いろり」、「かまど」など、昔な

つかしいものがたく さんあります。 利用時間=9:00~ 16:30(3~9月は 17:00まで) 休館日=年末年始



◆村山織物協同組合事務所

大正時代から村山大島紬の産地として広く知られ、 機屋や絣板製造業者が多く営業しておりました。これら の織物業者等が同業者組合を組織し、製品の品質管 理、販路の確保に努めてきました。組合事務所は、地域 の織物産業の全盛期であった昭和3年に建てられ、館

内には織物資料室が あり、見学できます。 定文化財となってい ます。



◆むさし村山四季彩シフォン(対対 (対域ブランド)

武蔵村山市内産の小麦粉に豆乳とおからを加えた生地

に、旬の市内産食材を練 り込んで焼き上げた四 季折々の味覚が楽しめる シフォンケーキです。 お茶、みかん、ゆず、夏み かん、小松菜、ごまの6 種類があり、季節によっ て販売される商品が異な



◆軽便鉄道線路跡・トンネル群

大正時代から昭和初期にかけて、狭山丘陵内に村山 貯水池(多摩湖)・山口貯水池(狭山湖)を建設するため に敷設された軽便鉄道(羽村・山口線)の線路跡とトン ネル群(横田・赤堀・御岳・赤坂)が残っており、現在は野

山北公園自転車道と して整備されていま す。春には、自転車道 を彩る桜並木が見事



龍華山清浄光院眞福寺は、和銅3(710)年に行基に よって創建されたと伝わる真言宗豊山派の古刹です。 観音堂には百体観音が安置され、狭山三十三観音の20 番札所となっています。現在の本堂は安永7(1778)年の 建立とされ、天保10(1839)年頃に石川文松によって描か

れた格天井花鳥画は市の有形文化 財に指定されています。また、山門 に収められている寛永15(1638) 年の鐘銘のある梵鐘も同じく市の 有形文化財に指定されています。



●庚申塔

写直提供: 坂下 智浩

「庚申の日、三尸虫が神様に悪事を告げ口する。これ を防ぐために徹夜で番をする」という三尸説に基づく 庚申信仰が江戸時代に盛んに行われていました。

人々は、村の外から村の中へ悪しき者の侵入を防せ

ぐために青面金剛や、猿 を彫った庚申塔を建てま した。現在、市には約20基



●禅昌寺

岸清山禅昌寺は、臨済宗の禅寺で、室町時代の正長 元年(1428)恵山和尚によって開山されたと伝えられ ています。観音堂は文禄3年(1594)の創建と伝えら れ、狭山二十四番の札所になっています。境内には、少 飛の塔があります。太平洋戦争時、市内にあった東京陸

軍少年飛行兵学校の 多くの生徒が命を落 としました。供養のた め卒業生が平成2年 に建立したものです。



●東京狭山茶

埼玉県との県境、武蔵村山市から瑞穂町、青梅市、東 大和市にかけての地域は、江戸時代から茶どころとして 知られています。作られているのは狭山茶ですが、東京 都のものは埼玉県のものと区別するため、昭和中期に 『東京狭山茶』と名付けられました。茶摘みは、春と夏の

2回と国内のほかの 産地より少なく、その 分コクと旨みのある お茶になると言われ ています。



◆狭山丘陵の化石

武蔵村山市がある狭山丘陵の周辺地域は、今からお よそ200万年前は遠浅の海が広がっていたと考えられ ており、その証拠として狭山丘陵の斜面では、貝類や エビの仲間などの生物の化石が数多く発見されてい

ます。武蔵村山に訪 れて、地球の誕生から 現在まで続く悠久の 歴史の息吹を感じて みてください。



◆長円寺

龍沢山長円寺と号する永禄11 (1568)年に華山秀呑 和尚によって開山された曹洞宗の寺です。本尊は釈迦 如来で、境内には江戸時代に三ツ木村を領していた旗 本大河内氏の墓があり、市指定の旧跡です。毎年4月

29日には、長円寺から 横田・中村・馬場地区を 巡る横中馬獅子舞(市指 定無形民俗文化財)が行 われます。





「武蔵村山の魅力づくり推進事業」

報告書

令和2年3月31日 西武トラベル株式会社

目 次

1.	事業	\$概要																							
	1)	目的		• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
	2)	スケミ	<i>シュー</i>	ル・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
	3)	運営体	本制 ⋅		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
	4)	武蔵村	寸山の	魅力	づ	<	ŋ	推	進	事	業	協	議	会	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3
	5)	魅力~	づくり	推進	事	業	交	流	会	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	4
2.	事業	美制作物	勿																						
	1)	スマー	ートフ	オン	向	け	ア	プ	リ	開	発	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	4
	2)	コーン	スマッ	プ制	作	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	4
	3)	むむむ	うやん	クリ	ア	フ	ア	イ	ル	制	作	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	5
	4)	モニク	ターツ	アー	募	集	チ	ラ	シ	制	作	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	6
3.	事業	(成果																							
	1)	"ムサ	ブラ"	ア	プリ	•	•	•	• •	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	6
		"ムサ ツア-																							
	2)		-募集	期間	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	6
	2)	ツアー	-募集 -募集	期間 方法	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	6
	2) 3) 4)	ツアー	- 募集 - 募集 - 参加	期間 方法	•	•	•	•	•		•		•	•			•					•	•	•	6 6 8
	2) 3) 4) 5)	ツア- ツア- ツア-	ー募集 一募集 一参加 J 供給	期間 方法 1人数	•	•	•	•				•	•		•		•		•		•	•	•	•	6 8 8
	2) 3) 4) 5) 6)	ツア- ツア- ツア- アプ!	一募集一募集一参加 は マッ	期間方法人がより、	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		•																•	•	6 8 8 8
	2) 3) 4) 5) 6)	ツアーツアーツアーファーフ	一募集 一募集 集 が は マ や	期方人・プクリカー	・・・・・・ 成ア	· · · · · フ	· · · · · · ·	· · · · · イ	・ ・ ・ ル	· · · · · 制	· · · · 作		•										•	•	6 8 8 8 8
	2) 3) 4) 5) 6) 7)	ツアーツアープリアーなむ	一 募 券 供 マ や イ タ 糸 糸 か 給 ッ ん ス	期方人・プクター	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· · · · · フ ·	· · · · · · · ·	· · · · · / ·	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· · · · · 制·	· · · · 作·	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	•	•	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	•	•	•	•	•		•	•	•	6 8 8 8 8
	2) 3) 4) 5) 6) 7) 8) 9)	ツツツアコむ協力	ーーーリス うて佐募募参供 マやイ 設集集加給 ツんス・	期方人・プクタ・間法数・作リー・	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· · · · · フ · ·	· · · · · ア· ·	· · · · · / · ·	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・制・・	· · · · 作·	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	•	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	6 8 8 8 8
	2) 3) 4) 5) 6) 7) 8) 9) 10)	ツツツアコむ協利アアアプーむカ用	ーテーリス うマ拖マ 募 募 参 供 マ や イ 設 一集 集 加 給 ツん ス ・ツ	期方人・プクタ・ア間法数・作リー・ー	・・・・・・ 成ア・・ 内	・・・・・フ・・容	· · · · · · · · · ·	· · · · · · / · · ·	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・制・・	・・・・作・・	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	•	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	6 8 8 8 8 8

1. 事業概要

1)目的

本事業では、既存の地域資源を生かし、新鮮で感動的な体験を提供し、体験した人が情報発信する仕組みを構築する。

市内においては、魅力マイスターの相互のつながりを作り、地域資源を生かすことに関わる人の意思を統一すること、また、子供たちを含めた市民が、本市の伝統文化、産業、史跡等を誇りに思い、次の世代へ継承していくことを目標にする。

市外に対しては、本市に来なければ体験できない地域資源をブランド化し、来訪者の増加を図り、購買行動への誘導、住んでみたいと思うまちとしてのイメージを持ってもらうことを目的とする。

2) スケジュール

実施日	実 施 内 容	制] 1	作	物
5月14日	第1回武蔵村山の魅力づくり推進協議会				
9月27日	第2回武蔵村山の魅力づくり推進協議会				
10月15	募集チラシ設置		4	_	
日	西武トラベル会員向けメルマガ発行	アプ	クリ	コート	募
10月21		アプリ制作	クリアファイル	コースマップ	募集チラシ
日		作	アイル	ップ	٧
11月5日	西武プリンスクラブ会員向けメルマガ発行	1			
11月16	第1回武蔵村山の魅力体験モニターツアー実施				
日	第2回武蔵村山の魅力体験モニターツアー実施		1	Ļ	
11月17					
日					
3月5日	第3回武蔵村山の魅力づくり推進協議会(中止)				
	武蔵村山の魅力づくり推進事業交流会(中止)				

3) 運営体制

	所属	氏名
会長	網代園製茶所	網代 進
副会長	むさしの化石塾	福嶋 徹
	武蔵村山郷土の会	石川 伊三郎
	小林農園	小林 卓矢
	狭山丘陵さんぽフォトグラファー	坂下 智浩
	紅茶専門店 KANDY	藤島 孝子
	村山織物協同組合	田代 隆久
	村山うどんの会	藤本 ゆみ子
	むさし村山ストリートダンス協会	中野 むつみ
	武蔵村山市製茶組合	高山 充則
委託業者	西武トラベル株式会社	長谷川、田島
事務局	武蔵村山市協働推進部観光課	

4) 武蔵村山の魅力づくり推進協議会

下記日程にて推進協議会を2回開催した。

※第3回推進協議会は、新型コロナウイルス感染拡大の新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止とした。

(1) 第1回推進協議会

開催日時:令和元年5月14日(火)19:00-19:40

開催場所:武蔵村山市役所4階 402 学習室B

出席者:高山委員、藤本委員、藤島委員、小林委員

事務局:観光課係長、同課主事

報告事項(1)平成30年度第3回武蔵村山の魅力づくり推進協議会

会議録について

報告事項(2)その他

議題(1)令和元年度武蔵村山の魅力づくり推進事業について(案)

議題(2)委託業者の選定について(予定)

議題(3) その他(次回予定)

(2) 第2回推進協議会

開催日時:令和元年9月27日(金)19:00-20:00

開催場所:武蔵村山市役所4階 403会議室

出席者:網代会長、小林委員、藤本委員、田代委員、石川委員、

藤島委員

委託業者:西武トラベル(㈱長谷川

事務局:観光課主事

報告事項(1)令和元年度第1回武蔵村山の魅力づくり推進協議会会議録 について

報告事項(2)委託業者の選定について

報告事項(3)その他

議題(1)令和元年度武蔵村山市の魅力づくり推進事業モニター ツアーについて

議題(2)その他(今後の予定)

(3) 第3回推進協議会(中止)

開催日時:令和2年3月5日(木)19:00-19:30

開催場所:武蔵村山市役所4階 401会議室

5) 魅力づくり推進事業交流会

下記日程にて推進事業交流会開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止とした。

開催日時:令和2年3月5日(木)19:30-21:00

開催場所:武蔵村山市役所4階 401会議室

2. 事業制作物

(1) スマートフォン向けアプリの開発(カシオ計算機に委託)

魅力マイスターの案内でブラ歩きしながら武蔵村山市の伝統文化・グルメ・産業史跡等を紹介したスマートフォン向けアプリを開発し、撮影した写真をその場で SNS 等に情報を発信できるようにした。





(2) コースマップ制作

モニターツアーで巡る地点をマップにして300部制作。ツアー終了後であっても、マップを活用し各所のみどころを散策できるように平成29年度東エリアコースに平成30年度に西コースを加え、情報館「えのき」をはじめとした公共施設に配置している。





(3) むむちゃんクリアファイル制作

むむちゃんを印刷したクリアファイルを 1,000 部制作して、モニターツアーの参加者及びツアー終了後は、PR パンフレット配布用とした。



(4) モニターツアー募集チラシ制作 モニターツアー募集のためチラシを 2,000 部制作した。

<表面>



<裏面>



3. 事業成果

(1) 「"ムサブラ"アプリ」合計 1220ダウンロード「武蔵村山の魅力体験日帰りモニターツアー」実施日

- ① 令和元年 11 月 16 日 (土)
- ② 令和元年 11 月 17 日 (日)
- (2) ツアー募集期間 令和元年 10 月 15 日 (月) -11 月 15 日 (金)
- (3) ツアー募集方法①チラシによる募集

	-1	~ a a -lur
設置場所及び部数	武蔵村山市	500部
	・「情報館」えのき	15 部
	・市政情報コーナー	15 部
	・村山温泉「かたくりの湯」	15 部
	• 市役所 2 階窓口	15 部
	・観光情報センター	75 部
	・観光情報センター多摩	75 部
	• 小林農園	20 部
	・村山うどんの会会員店	140 部
	• 総合体育館	15 部
	• 歷史民俗資料館	15 部
	• 歷史民俗資料館分館	15 部
	・保険相談センター	15 部
	・お伊勢の森分室	15 部
	・緑が丘出張所	15 部
	• 福祉会館	15 部
	・ふれあいセンター	15 部
		計 490 部
	西武トラベル池袋営業所	200 部
	西武トラベル高田馬場営業所	200 部
	西武トラベル新橋本社	100 部
	西武園遊園地	100 部
	BOGBOX東大和	100 部
	としまえん庭の湯	100 部

新横浜スケートセンター100 部東伏見スケートセンター100 部高輪テニススクール100 部高輪ゴルフスクール100 部品川プリンスホテル100 部西武フィットネスクラブ所沢100 部掬水亭100 部計 1,500 部合計 2,000 部

② 西武プリンスクラブ会員向けメルマガ(全国)

11月5日(月)発行 328,000部

③ 西武トラベルメルマガ(全国)

10月21日(月)発行

3,680 部

- ④ 西武トラベルホームページにて告知
- ⑤ 武蔵村山市ホームページにて告知、およびチラシ設置、SNS での告知

(4) ツアー参加人数 (募集定員各 25 名)

出発日	参加人数	当日キャンセル
11月16日(土)	25 人	0 人
11月17日(日)	25 人	2 人

(5) アプリ供給

令和元年11月1日(金)~令和2年3月31日(火)利用可

	;	機種	合計
ユーザー数	Android	ios	
日本	476	644	1120
外国	61	39	100
合計	537	683	1220

(6) ツアーコースマップ制作

11月11日(月)納品 A3 4CX4C 300部

(7) むむちゃんクリアファイル制作

11月14日(木)納品 1,000部

(8) 協力マイスター

- ① 小林 卓矢(東京狭山みかんマイスター)
- ② 藤本 ゆみ子 (うどんマイスター)
- ③ 比留間 良幸(うどんマイスター)
- ④ 高橋 健樹 (郷土史マイスター)
- ⑤ 貞 儀憲(村山党マイスター)
- ⑥ 藤島 孝子(紅茶マイスター)

(9) 利用施設

- A 小林農園
- B 青柳 (うどん店)
- C 武蔵村山市立中久保図書館(甲冑着付体験)
- D 武蔵村山市民会館(スコーンづくり体験、うどんづくり体験)
- E 村山温泉「かたくりの湯」

(10) モニターツアー内容

魅力マイスターと一緒にぶらりと歩く"ムサブラ"をしながら、武蔵村山の魅力と謎を解き明かす魅力体験日帰りモニターツアーを開催した。 参加者の皆様は、マイスターに積極的に質問し、スマートフォンアプリ「ムサブラ」を利用しながら武蔵村山の魅力の謎を解いていた。

「謎①」なぜ東京で"みかん"なの?

ツアー両日とも、小林農園にて小林マイスター御協力のもとみかん狩りの体験を行った。みかん狩りのコツなどを教えていただいただけでなく、東京狭山みかんの特徴や歴史についても教えていただいた。





「謎②」武蔵村山といえば村山うどん?

ツアー1 日目は、村山うどんの会会員店の「青柳」で藤本マイスター、 比留間マイスター及び遠藤マイスター御協力のもと村山かてうどんを召し上 がっていただいた。また、村山かてうどんを待っている間、うどんのづくりの 実演をしていただいた。

ツアー2日目は、市民会館さくらホールにて藤本マイスター並びに村山うどんの会の御協力のもとうどんづくりを行った。1グループに講師が一人付いていただいたのでどのグループも上手く作ることができ、子供から大人まで幅広い世代に満足していただいた。





「謎③」トンネル群のヒミツとは?

ツアー両日とも、高橋マイスターの協力のもと軽便鉄道廃線跡・トンネル群の見学を行った。昔、武蔵村山に鉄道が通っていた話やトンネルの構造などたくさんのお話をしていただいた。





「謎④」なぜ村山に武士がいた?

ツアー1 日目に、中久保図書館の駐車場にて武士団・村山党のメンバーである貞マイスター及び徳田マイスター並びに武士団・村山党の御協力のもと甲冑の着付け体験を行った。また、貞マイスターには、武蔵村山にいた武士の起源などの歴史を語っていいただいた。





「謎⑤」なぜ村山でスコーンづくり?

ツアー1 日目に、市民会館さくらホールにて藤島マイスターのご指導のもとスコーンづくりを行った。紅茶専門店KANDYの経営者である藤島マイスターに、お店をはじめたきっかけや市内の特産品を使っている地域ブランド認証品「むさし村山四季彩シフォン」を紹介していただいた。





「謎⑥」なぜここに温泉が?

ツアー両日とも、ツアーの最終地点を村山温泉「かたくりの湯」とした。 村山温泉「かたくりの湯」の説明をした後、希望者は入浴していただきツ アーの疲れを癒してもらった。





(11) アンケート結果(※) 別紙 参照

(12) 総括

(1) 事業の成果

昨年度に実施したモニターツアーのアンケート結果で、"ムサブラ"アプリを用いて武蔵村山の魅力発信をした方が少なかったため、ツアー募集の段階で情報発信についての条件やツアー内で発信する時間を設けるなどの工夫が必要であった。また、モニターツアーの内容が盛りだくさんとなり行程にゆとりがなかったため、時間配分の見直しなども必要であった。

このことから本年度においては、最終案内発送時に"ムサブラ"アプリを事前にインストールするよう告知チラシを配布し、バスの移動時間などで情報発信する旨をアナウンスした結果、当日は、ほとんどの参加者が事前にアプリをインストールし、スムーズに情報発信をすることができた。また、今まで徒歩で移動していたところをバスの移動に変更し、時間に余裕を持った行程とした。

アンケート結果で、本ツアーの内容(魅力マイスターと一緒に武蔵村山の魅力を体験する企画)は非常に好評であるため、今後も継続していきたい。

一昨年度、昨年度に引き続き、参加料は一人当たり 1,000 円という設定であり、募集の妨げにはなっていない。むしろ、一定の金額をいただくことによってキャンセル率の低下を防ぐことができた。

(2) 今後の課題と展開

一昨年度から配信している"ムサブラ"アプリは、モニターツアーに参加した人が武蔵村山の魅力を体験し、情報発信をするだけでなく、モニターツアーに参加できなった人にもセルフで武蔵村山の魅力を体験することができるアプリである。昨年度と比べてダウンロード数や情報発信数は多くなったが、モニターツアーに参加した人の情報発信がほとんどである。今後は、参加者以外の人に積極的に発信してもらうような仕掛けづくり(発信数に応じて特典を付けるなど)をしていくことが必要である。

本事業は、行政主体のため予算の関係上、事業内容が限定的になって しまっているのが現状であり、魅力マイスターの企画・立案などを反映 するのが難しかった。

今後は、一般社団法人で設立する観光協会や魅力マイスター等と連携 し、自由な企画・立案ができる運営体制にしていく方法も視野に入れて いく必要がある。

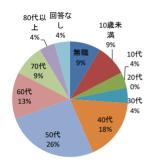
11月16日出発 武蔵村山モニターツアー アンケート結果

四答人数21名様

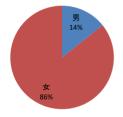
	職業	合計
1	会社員	12
2	公務員	0
3	自営業	0
4	パート・アルバイト	3
5	主婦	1
6	学生	3
7	無職	2
8	その他	0



	年齢	合計
1	10歳未満	2
2	10代	1
3	20代	0
4	30代	1
5	40代	4
6	50代	6
7	60代	3
8	70ft	2
9	80代以上	1
10	回答なし	1



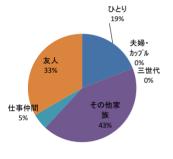
	性別	合計
1	男	3
2	*	18



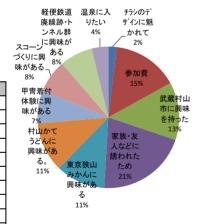
	居住地	合計	
1	東京都武蔵村山市	0	
2	東京都東久留米市	1	
3	東京都東村山市	1	
4	東京都豊島区	1	
5	東京都府中市	3	
6	東京都西東京市	2	
7	東京都台東区	1	
8	東京都葛飾区	1	
9	東京都板橋区	1	Ī
10	東京都大田区	2	
11	東京都新宿区	1	
12	東京都	1	
13	埼玉県新座市	1	Ī
14	埼玉県所沢市	1	
15	埼玉県三芳町	1	
16	千葉県船橋市	2	



	同行者	合計
1	ひとり	4
2	夫婦・カップル	0
3	三世代	0
4	その他家族	9
5	仕事仲間	1
6	友人	7



1	参加の理由(あてはまるもの全て)	合計
1	チラシのデザインに魅かれて	1
2	参加費	8
3	武蔵村山市に興味を持った	7
4	家族・友人などに誘われたため	11
5	東京狭山みかんに興味がある	6
6	村山かてうどんに興味がある。	6
7	甲冑着付体験に興味がある	4
8	スコーンづくりに興味がある	4
9	軽便鉄道廃線師・トンネル群に興味がある	4
10	温泉に入りたい	2



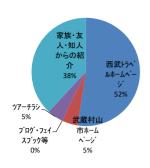
2	このモニターツアーを知ったきっかけ(あてはまるもの全て)	合計
1	西武トラヘルホームヘーシ	11
2	武蔵村山市ホームページ	1
3	ブログ・フェイスブック等	0
4	ツアーチラシ	1
5	家族・友人・知人からの紹介	8

※ツアーチラシはどこでもらいましたか?

3 ツアーチラシを見るまで知らなかった

図書館

3	武蔵村山市をご存じでしたか?	合計
1	知っていた	15
2	名前は聞いたことがあるがどこにあるかは知らなかった	4



ツアーチラシを見 るまで知らな かった 10%	
名前は聞い たことがある がどこにある かは知らな かった	
19%	知っていた 71%

	4	今回のツアーの中で初めて訪れた場所について(あてはまるもの全て)	合計
	1	小林農園	16
Γ	2	青柳(昼食)	16
Γ	3	軽便鉄道廃線跡・トンネル群	19
Γ	4	村山温泉「かたくりの湯」	14

村山温泉 「かたくりの 湯」 21%	小林農園 25%
軽便鉄道廃 線跡・トンネ ル群 29%	青柳(昼食) 25%

5	このモニターツアーで一番印象に残った場所はどちらですか?※複数回答有。	合計
1	東京狭山みかん	7
2	村山かてうどん	3
3	武士団·村山党	2
4	スコーンづくり	2
5	軽便鉄道廃線師・トンネル群	7
6	村山温泉「かたくりの湯」	0
7	その他	0

選んだ理由(5は、その他の場所・理由)

1:おいしかったから

1:富士山を見ることができ、みかんもおいしかった

2:とてもおいしかった

2:おいしくて、作るときがすごかった

3:甲冑を着ることができたから

4: 初めて作ったが、簡単でおいしく作れた。シフォンケーキと紅茶もおいしかった

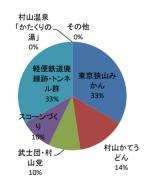
5:マイスターの話がとても面白かった

5:狭山湖・村山貯水池の堤防のために使用され、昭和18年に再度設置という話に驚いたので、母に話そうと思った

5:トンネル群などでは色々な豆知識を教えてくれた

5:印象に残る内容だった

5:とても長いトンネルが人の手で作られたこと



6	武蔵村山市にまた訪れたいと思いますか?	合計
1	ぜひ訪れたい	12
2	きっかけがあれば訪れたい	9
3	あまり訪れたいとは思わない	0

- 1~3を選んだ理由
- ・1:たまに来ているから
- ・2:電車がないので交通手段があれば(2人)
- ・1:みんなでおいしいうどんを食べにきたい
- ・1:子どもと一緒にあそびの森・かてうどん・温泉を楽しみたい
- ・1:楽しかったから
- ・1:シイタケ狩りやミカン狩りをしたい



7	ムサブラアブリを用いて情報の発信をしましたか?	合計
1	発信した	13
2	発信しない	4
3	無記入	4

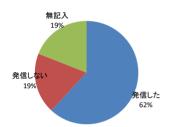
7-1.発信手段

- ·インスタグラム(1) ·LINE(7) ·facebook(2) ·Twitter(4) ·SNS(1)
- ·父がやったのでわからない

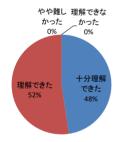
発信内容:東京狭山みかん(4)、かてうどん(2)、トンネル、写真をアップ

7-2.発信しない理由

- ・操作方法を確認してから発信しようと思う
- ・家に帰ってからします
- ・やい方がわからないので、教えてもらって、近いうちに発信したい
- ・ネット環境が悪かった



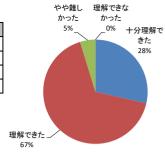
8	4つのテーマはいかがでしたか? < 1 > なぜ東京で、みかん、なの?	合計
1	十分理解できた	10
2	理解できた	11
3	やや難しかった	0
4	理解できなかった	0



8	4つのテーマはいかがでしたか? <2>武蔵村山といえば村山うどん?	合計
1	十分理解できた	9
2	理解できた	11
3	やや難しかった	1
4	理解できなかった	0



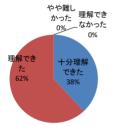
8	4つのテーマはいかがでしたか? <3>なぜ村山に武士がいた?	合計
1	十分理解できた	6
2	理解できた	14
3	やや難しかった	1
4	理解できなかった	0



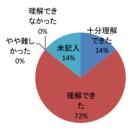
8	4つのテーマはいかがでしたか? <4>なぜ村山でスコーンづくり?	合計
1	十分理解できた	5
2	理解できた	14
3	やや難しかった	2
4	理解できなかった	0



8	4つのテーマはいかがでしたか? <5>トンネル群のひみつとは?	合計
1	十分理解できた	8
2	理解できた	13
3	やや難しかった	0
4	理解できなかった	0



8	4つのテーマはいかがでしたか? < 6 > なぜここに温泉が?	合計
1	十分理解できた	3
2	理解できた	15
3	やや難しかった	0
4	理解できなかった	0
5	未記入	3



- 9 武蔵村山の魅力は何だと思いますか?どんなところが魅力かお聞かせください。
 - ・自然豊か(12)
 - ・駅がないところ
 - ・よい意味で東京とは思えない、のんびいしたところ
 - ・今まで知らなかった地域の特徴
 - ・うどんがおいしかった
 - ・狭山丘陵の恵まれた地形とマイスターはじめ市民の方が

誇りをもっていると感じられたところ

- ・幹線道路が走っているところ
- ・地元産の食品がたくさんあるところ
- ・イオンなどの大きなショッピングモールがあるところ
- ・電車がない
- ・地場力、人
- ・地元の魅力を伝えるマイスター

- 10 ツアー全体の感想・ご意見をお聞かせください。
 - ・色々体験出来てよかった
 - ・東京とは思えないくらい自然が多くて驚きました
 - ・よかった
 - ・一日あっという間で盛りだくさんの内容で楽しかった(3)
 - ・出来立てのスコーンが予想以上においしかった
 - ・親切でうれしかった
 - ・色々なイベントがいっぱいで大変楽しかった
 - ・楽しかった。 満足できた(2)
 - ・参加費の安さがとても魅力的でした。参加してみると内容がとても

充実していて、家族でまた訪れたいと思った

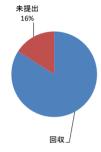
- ・トンネルの話は、資料館を利用するなどして、座って聞きたかった
- ・豊かな自然を時間をかけずにまわることができ、楽しめました。

バスなどの交通が充実すれば、もっと身近に感じることが出来ると思った。

- ・バスの運転手さん、運転ありがとうございました(こども)
- ・とても素敵な体験ができました
- ・ミカン狩り、 おいしかった
- ・武蔵村山市の魅力を体験出来てツアーを満喫した。参加人数が

限定されているので、マイスターのお話をよく聞くことが出来てよかった

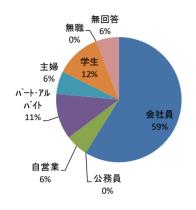
11	アンケート回収	合計
1	回収	21
2	未提出	4



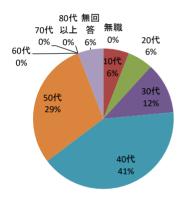
11月17日出発 武蔵村山モニターツアー アンケート結果

回答人数 17名様

	職業	合計
1	会社員	10
2	公務員	0
3	自営業	1
4	パート・アルバイト	2
5	主婦	1
6	学生	2
7	無職	0
8	無回答	1



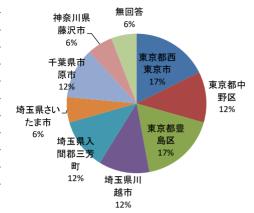
	年齢	合計
1	10代	1
2	20代	1
3	30代	2
4	40代	7
5	50代	5
6	60ft	0
7	70ft	0
8	80代以上	0
9	無回答	1



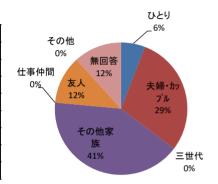
Ī		性別	合計
ĺ	1	男	7
ĺ	2	₹	10



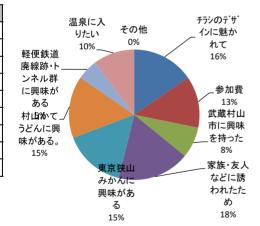
	居住地	合計
1	東京都西東京市	3
2	東京都中野区	2
3	東京都豊島区	3
4	埼玉県川越市	2
5	埼玉県入間郡三芳町	2
6	埼玉県さいたま市	1
7	千葉県市原市	2
8	神奈川県藤沢市	1
9	無回答	1



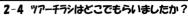
	同行者 ※複数回答者あり	合計
1	ひとり	1
2	夫婦・カップル	5
3	三世代	0
4	その他家族	7
5	仕事仲間	0
6	友人	2
7	その他	0
8	無回答	2



1	参加の理由(あてはまるもの全て)	合計
1	チラシのデザインに魅かれて	6
2	参加費	5
3	武蔵村山市に興味を持った	3
4	家族・友人などに誘われたため	7
5	東京狭山みかんに興味がある	6
6	村山かてうどんに興味がある。	6
7	軽便鉄道廃線跡・トンネル群に興味がある	2
8	温泉に入りたい	4
9	その他	0

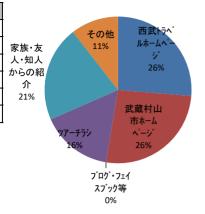


2	このモニターツアーを知ったきっかけ(あてはまるもの全て)※複数回答者あり	合計
1	西武トラヘルホームヘージ	5
2	武蔵村山市ホームへ・ーシ	5
3	プログ・フェイスブック等	0
4	ツアーチラシ	3
5	家族・友人・知人からの紹介	4
6	その他	2

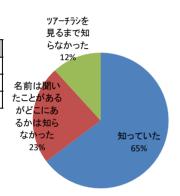


- ・満月うどん
- ·家族
- 2-6 その他の具体的な理由

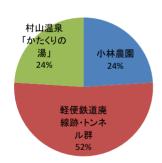
西武トラベルからのメール



3	武蔵村山市をご存じでしたか?	合計
1	知っていた	11
2	名前は聞いたことがあるがどこにあるかは知らなかった	4
3	ツアーチラシを見るまで知らなかった	2



4	今回のツアーの中で初めて訪れた場所について(あてはまるもの全て)	合計
1	小林農園	6
2	軽便鉄道廃線跡・トンネル群	13
3	村山温泉「かたくりの湯」	6



5	このモニターツアーで一番印象に残った場所はどちらですか?※複数回答有	合計
1	村山かてうどんづくり	10
2	東京狭山みかん	1
3	軽便鉄道廃線師・トンネル群	9
4	村山温泉「かたくりの湯」	0
5	その他	0

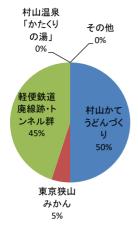
その理由(5は、場所と理由)

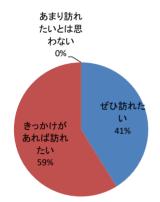
- ・1:一から作るのはおいしい! 雑談も挟んでよかった
- ・1:おいしかったので、家でも作ってみたいとおもった
- ・1:おいしかったから(4)
- ・1: 机めてうどんをつくったから(3) ※なかなか作る機会がないので貴重な体験だったという意見も
- ・3:一度行ってみたかったから
- ・3:初めて行けたから(2)
- ・3:歴史の話が大変おもしろかった
- ・3: 由来などを聞けてよかったから
- ・3:歴史を感じたから

6	武蔵村山市にまた訪れたいと思いますか?	合計
1	ぜひ訪れたい	7
2	きっかけがあれば訪れたい	10
3	あまい訪れたいとは思わない	

1~3を選んだ理由

- ・1:化石の発掘でまた来てみたい
- ・1:他に行ってみたいところがあった
- ・1: 自然豊かで心が癒されたから
- ・1: 自然と歴史に興味があるから
- ・2:歴史がある。 のどかで良いところなので
- ・2: 充実した1日を過ごせたから
- ・2:食べ物を目的に
- ・2:みかんがおいしかったから
- ・2:トンネルの続きが見たい
- ・2:いろいろ知りたいことがあったから





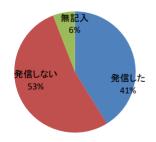
7	ムサスラアプリを用いて情報の発信をしましたか?	合計
1	発信した	7
2	発信しない	9
3	無記入	1

7-1.発信手段·内容

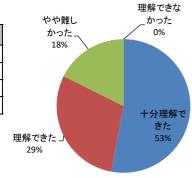
- ・ツイッター(1)
- ・個人のホームページ
- ・スマートフォン(2)
- ·SNS(1)
- ・メール
- ・内容:写真をUPする、 友人へツアーの感想や風景のよさを伝えた

7-2.発信しない理由

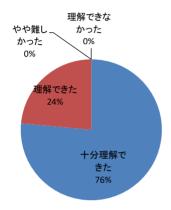
- ・他のSNSを利用したから
- ·LINEで発信したので(2)
- ・これからします(2)
- ・アプリのダウンロードが容量オーバーでできなかったから
- ・携帯持っていない



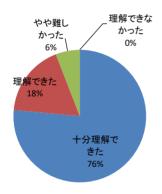
8	4つのテーマはいかがでしたか? < 1 > 武蔵村山といえば村山うどん?	合計
1	十分理解できた	9
2	理解できた	5
3	やや難しかった	3
4	理解できなかった	0



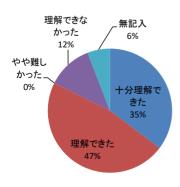
8	4つのテーマはいかがでしたか? < 2 > なぜ東京で、みかん、なの?	合計
1	十分理解できた	13
2	理解できた	4
3	やや難しかった	0
4	理解できなかった	0



8	4つのテーマはいかがでしたか? <3>トンネル群のひみつとは?	合計
1	十分理解できた	13
2	理解できた	3
3	やや難しかった	1
4	理解できなかった	0



8	4つのテーマはいかがでしたか? <4>なぜここに温泉が?	合計
1	十分理解できた	6
2	理解できた	8
3	やや難しかった	0
4	理解できなかった	2
5	無記入	1



- 9 武蔵村山の魅力は何だと思いますか?どんなところが魅力かお聞かせください。
 - ・自然(豊か・のんびりできる) (7)
 - ・うどん(満月うどん)(2)
 - ・見どころが多い
 - ・おいしい食べ物が多い
 - ・観光地としての可能性(交通が不便なのが難)
 - ・鉄道が通ってなくても魅力的
 - ・東京みかんは(2)
 - ・都心部から近い(日帰い可)(3)
 - ・鉄道がないことをアピールするよりも、あるものの良さをもっと発信してほしい
 - ・電車がない(秘境感が高まってよい)(3)
 - ・歴史
 - ・東京都は思えないところ
 - ・独特な文化(狭山丘陵)
- 10 ツアー全体の感想・ご意見をお聞かせください。
 - ・説明が分かりやすく勉強になった
 - ・楽しいツアーでした(3)
 - ・また参加したいです
 - ・今回で2回目の参加だったので、もっと内容を変えて紹介してほしい
 - ・その土地のことが知れたし、近いので、また行きたくなりました
 - ・移動範囲が広くないわりに多くの体験や見学があり、充実していた。

東京狭山みかんは、とてもおいしかった。 希少なみかん、 もっと広めて 武蔵村山に多くの人を呼んでほしい。

- ・甲冑、来年も入れてください。着たいです。みかんやスコーンも食べたい。
- ・短い時間ながらも十分楽しめました。 食のイメージが強いですが、 自然も豊かですね。
- ・うどんやみかんがおいしくて、ツアー代金もお手頃なので、大満足でした。
- ・ツアー代金が安い。うどんの貝をもっと多めがいい。
- ・新発見ができた
- ・やっくんが観光大使なので、ぜひ会いたい
- ・トンネルの話が詳しすぎて苦痛だった。歩くのが疲れた。

トンネルは1・2か所見れば十分。名所が少なく、地域の競争心がなさそうで

やる気がなく見える。町おこし的なことも力を入れてなさそう。

良い資源がいっぱいあるのに住民のやる気が感じられなくて残念。

- ・1回目と2回目で内容が違うのに料金が同じなのは??
- ・満足だったが、温泉にはいれるものと勘違いしてしまった

12	アンケート回収	合計
1	回収	17
2	未提出(未回答)	5



武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和元年度末進捗状況について

【基本目標1 まちの魅力を向上させ、新たな人の流れをつくる】

項目	進捗状況
市外からの平日の滞在人口	×
市外からの休日の滞在人口	×

※重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

◎:目標値達成

○: 平成26年度現況値を上回っている

△:現況値から横ばい※:現況値を下回っている—:数値が判明していない

具体的施策 (7施策30事業) の進捗状況 (令和元年度末)

具体的施策			事業の	状況(指	標数)	
項目	進捗状況 (前年度)	©	0	Δ	×	_
戦略的な情報発信	⊚(⊚)	4	0	0	0	0
創業を希望している市民 への支援	$\bigcirc(\bigcirc)$	1	1	0	1	0
産業の振興と雇用の促進	①△(○) ②⊚(⊚)	3	0	3	1	0
時代のニーズに対応する 農業の創造	⊚(⊚)	1	1	1	0	0
個性豊かな観光施策の推進		4	1	5	3	0
利便性の高い公共交通網 の形成	$\bigcirc(\bigcirc)$	0	2	0	0	0
にぎわいと活力のあるま ちづくり	$\bigcirc(\bigcirc)$	0	1	2	0	0
合計	_	1 3	6	1 1	5	0
前年度合計	_	1 1	7	1 2	5	0

基本目標1の総括

- ・交流人口の増加の視点から施策を展開している。
- ・滞在人口については、地域経済分析システム (RESAS) の平成 31 年 1 月から令和元年 12 月までの 14 時時点の市外からの滞在人口の平均値を算出している。
- ・市外からの滞在人口について、平成30年度と比較すると、平日及び休日において、全ての時点で数値 は減少している。
- ・平成30年度と比較すると、目標値を達成した事業が増加している。
- ・戦略的な情報発信については、平成30年度に引き続き、全ての事業で目標値を達成している。
- ・産業の振興と雇用の促進については、市内全体の産業振興等を計画的に進めるため、産業振興ビジョ

ンの策定の検討を進め、令和2年度から令和3年度にかけて策定する。

- ・個性豊かな観光施策の推進については、平成30年度と比較すると、目標値を達成した事業が増加した。 一方で、村山温泉「かたくりの湯」については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、来場者は 減少した。
- ・利便性の高い公共交通網の形成については、平成30年度に引き続き、掲載事業の全てにおいて現況値を上回っている。一方で、平成30年度と比較すると数値が減少している事業もある。

補足資料

【資料5-2】武蔵村山市の滞在人口 (RESAS)

【基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

項目	進捗状況
合計特殊出生率	_
「武蔵村山市は安心して子ど	
もを産み育てられるまちだと	_
思う」人の割合	

※重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

◎:目標値達成

○: 平成 26 年度現況値を上回っている

△:現況値から横ばい

×:現況値を下回っている

-:数値が判明していない

具体的施策(5施策25事業)の進捗状況(令和元年度末)

具体的施策			事業の状	況(指標	票数)	
項目	進捗状況	0	0	Δ	×	—
婚活への支援	$\times (\times)$	0	О	0	1	0
子どもとお出かけしやすい	$(1)\times(\bigcirc)$					
まちづくり	$(2)\bigcirc (\bigcirc)$	3	1	0	1	0
	(3)—(◎)					
子育て、子育ちと子ども家	$\textcircled{1}\times(\times)$					
庭の支援	20(0)					
	(3) 1 0 0)	6	4	1	0	1
	(3) \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc	О	4	1	0	1
	$(4)\bigcirc(\bigcirc)$					
	(5)—(—)					
子どもの知力・体力の向上	⊚(⊚)	0	1	1	2	0
教育環境の整備	$\bigcirc(\times)$	1	2	0	1	0
合計		1 0	8	2	5	1
前年度合計	_	1 1	8	2	4	1

基本目標2の総括

- ・年少人口及び将来的な生産年齢人口の増加を図る視点から施策を展開している。
- ・基本目標のKPIの数値が現時点で判明していないが、令和元年の出生者数は 495 人であり平成 30 年と比較すると 56 人の減少となっている。(住民基本台帳)
- ・基本目標に掲げる合計特殊出生率の平成30年度実績については、全都、区部及び市部の平均値を上回っている。また、市部及び区部では一番高い数値となっている。
- ・基本目標に掲げる「「武蔵村山市は安心して子どもを産み育てられるまちだと思う」人の割合」については、アンケートを実施していないため、進捗状況の数値を判断できない。

なお、平成30年度に実施したアンケート結果を活用し、子ども・子育てに関する総合的な計画である令和元年度に第二期子ども・子育て支援事業計画を策定した。

補足資料

【資料5-3】出生者数・死亡者数 経年データ

【基本目標3 時代にあった地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する】

項目	進捗状況
居住年数 20 年以上の人の割合	_
20 歳代の転出者割合	×

※重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

◎:目標值達成

○: 平成26年度現況値を上回っている

△:現況値から横ばい ×:現況値を下回っている

-:数値が判明していない

具体的施策(4施策18事業)の進捗状況(令和元年度末)

具体的施策			事業の)状況(指	票数)	
項目	進捗状況	0	0	Δ	×	_
生活利便性の高いまちづく り	—(×)	0	2	0	1	0
安心して暮らせるまちづく り	10(0) 20(0)	5	0	1	1	0
健康でいきいきと暮らせる まちづくり	①—(—) ②×(×) ③—(—)	0	2	0	2	2
住み続けられるまちづくり	⊚(⊚)	2	0	0	0	0
合計		7	4	1	4	2
前年度合計	_	5	7	3	2	1

基本目標3の総括

- ・「住み続けたい」と思えるまちづくりという視点から施策を設定している。 特に20歳代の転出数が多いことから、若い世代に住み続けてもらえるような施策を検討していく必要がある。
- ・平成30年度と比較すると、目標値を達成した事業が増加しているが、現況値を下回った事業も増加している。
- ・生活利便性の高いまちづくりについては、平成30年度は全ての事業において、現況値を上回る数値であったが、現況値を下回る事業があった。
- ・安心して暮らせるまちづくりについては、平成30度と比較すると、目標値を達成した事業が増加した。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が実施できず、進捗状況が「◎」から「×」へ 変更になった事業がある。
- ・住み続けられるまちづくりについては、平成30年度に引き続き、全ての事業で目標値を達成している。

補足資料

【資料5-4】転入者数・転出者数 経年データ

基本目標1:まちの魅力を向上させ、新たな人の流れをつくる

基本目標の基本的な考え方:市内の観光資源等の魅力を最大限に活用したり、新たな企業の誘致を行ったりすることで、市外からの交流人口の増加を図る。

※重要業績評価指標(KPI)の進捗状況 ②:目標値達成 Δ:担が値が対域ばい ×:現況値を下回っている -:数値が判明していない

5 H H H H	the alle to st.	総合副数				K	PI				Ma lule I I S NO	-t- 3ll4 am	A first bright have a Trian	Listen to a am the	左記課題を踏まえた令和	
具体的施策	事業名称	総合戦略掲載ページ	指標	平成26年度 (現況値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度 (目標値)	進捗状況	事業課	令和元年度までの取組 目標	値達成への課題	2年度以降の予定・計画	備考
	基本目標 1	P 43	市外からの平日及び休 日の滞在人口		平日:16,261人 休日:17,284人		平日:16,202人 休日:17,188人	平日:16,658人 休日:16,951人	平日:15,212人 休日:16,445人	平日:17,088人 休日:18,252人 (5年間で5%増)	×	企画政策課	来訪者の増加に向けて、市の 魅力体験コースを2コース設 特に休	期的な来訪につなが 必要である。 日の滞在人口が減少 るため、継続的に増 取組の実施が求めら	観光施策の推進、多摩都市モ	(H29. 3. 31決定)及びH30
1 戦	各的な情報発信	P 44	広報戦略(シティプロ モーション戦略)の策 定	_	_	検討	策定	_ (策定済)	— (策定済)	策定	©	秘書広報課	広報戦略に沿って事業を 行った。 特にな	l	引き続き広報戦略に基づき 取組を実施する。	
	広報戦略 (シティプロモーション 戦略) の策定	P 44	広報戦略(シティプロ モーション戦略)の策 定	_	_	検討	検討		_ (策定済)	策定	©	秘書広報課	広報戦略に沿って事業を 行った。 特にな	L	引き続き広報戦略に基づき 取組を実施する。	
	武蔵村山の魅力教え隊の活用	P 44	武蔵村山の魅力教え隊 隊員数	_	78人	304人	407人	531人	555人	500人	0	秘書広報課	ホームページ等で隊員募集 を掲載している。 特にな		市報、SNSで隊員募集に加え、各種イベントで募集を 行う。	
	SNS等による広報手段の充実	P 44	市公式フェイスブック 「いいね!」件数	417件	589件	661件	769件	817件	885件	800件	©	秘書広報課	令和元年度はフェイスブッ クの投稿を218件、ツイッ 特にな		投稿文の文章の文頭に見出 しを付ける等、一目で趣旨が 分かるツイッター、フェイス ブックの投稿を行う。	
	SNS等による広報手段の充実		市公式ツイッター 「フォロワー」数	952件	1,383件 (H28.5.4)	1,742件 (H29.4.7)	2, 152件 (H30. 3. 31)	2, 454件 (H31. 3. 31)	3, 170件 (R2. 3. 31)	1,800件	0		ターの投稿を579件行った。		また全課が積極的にSNSを 用いて広報をすることを促 す。	
2 創業	美を希望している市民への支援	P 45	制度を利用した創業者数	_	0人/年	20人/年	16人/年	2人/年	1人/年	21人/年	0	産業観光課		創業希望者や創業に る方の更なる発掘方 。	各種支援事業の内容については、過去の参加者数やアンケート等を参考に、より参加者が求めている内容となるよう改善に努めていく。	
	創業支援の推進	P 45	制度を利用した創業者数	_	0人/年	20人/年	16人/年	2人/年	1人/年	21人/年	0	産業観光課		7 L ~ T L 7 70 10 L	各種支援事業の内容については、過去の参加者数やアンケート等を参考に、より参加者が求めている内容となるよう改善に努めていく。	
	ウィメンズチャレンジプロジェクト	P 45	セミナー参加者数	_	80人/年	209人/年	740人/年	705人/年	226人/年	120人/年	©	協働推進課	創業・起業支援として創業 塾や創業セミナー、ブチ起業 フェスタ等を開催、再就職支 援として相談会や就職準備講 産等を開催してきた。	実際に創業・起業、につながる有益な事	引き続きプチ起業フェス タ、起業支援、相談会や講座 等による再就職支援を行って いく。	地方創生先行型事業
	空き店舗活性化事業への支援	P 45	空き店舗を活用した事 業数	1事業	1事業	0事業	0事業	0事業	0事業	2事業	×	産業観光課	各商店会に都補助事業の案内及び商店会の現況聴収などを行った。 市内の空き店舗を活用した 創業を促すため、(公財)東 する商店 支部から、市内空き店舗の情報をいただくよう調整した。	事業については、期 あることから、利用 会はない。	市独自の支援(補助金等) を検討していく必要がある。	

1

		60. A 22h mby				K	PΙ								左記課題を踏まえた令和	
的施策	事業名称	総合戦略 掲載ベージ	指標	平成26年度 (現況値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度 (目標値)	進捗状況	事業課	令和元年度までの取組	目標値達成への課題	2年度以降の予定・計画	備考
産業	の振興と雇用の促進	P 46, 47	企業誘致制度に基づく 事業所の新規指定	_	0事業所	0事業所	1事業所	1 事業所	0事業所	2事業所	Δ	産業観光課	事業所と取引関係がある金融機関、不動産業者への広報を行った。また、関係各課へ制度の周知を行い、該当となりそうな事業所の情報提供を依頼した。	移転希望のある市外事業所 への広報の方法。	金融機関や不動産業者等との連携強化を図っていく。	
			ウィメンズチャレンジ プロジェクトセミナー 参加者数	_	80人/年	209人/年	740人/年	705人/年	226人/年	120人/年	©	協働推進課	塾や創業セミナー、プチ起業	再就職等につながる有益な事	引き続きプチ起業フェス タ、起業支援、相談会や講座 等による再就職支援を行って いく。	地方創生先行型事業
C	(仮称) 産業振興ビジョンの策定 の検討	P 47	(仮称) 産業振興ビ ジョンの策定	_	検討	検討	検討	検討	検討終了	検討終了	©	産業観光課	近隣自治体の産業振興計画 策定状況等の情報収集、計画 作成委託の見積徴収を行っ た。		令和2年度から令和3年度に かけて産業振興ビジョンの策 定を行う。	
	企業誘致制度の拡充(新青梅街道 沿道)	P 47	企業誘致制度の対象拡 大	_	検討	検討	検討	検討	検討	検討終了	Δ	産業観光課	新青梅街道沿線地区まちづくり計画の推進状況等を都市 計画課から情報共有を図っている。	新青梅街道沿線の建物等の 土地取得割合(借地かどう か)の調査。	引き続き、新青梅街道沿道 地区まちづくり計画の推進状 況を勘案しながら、検討を進 める。	
	企業誘致制度の周知(雇用促進奨 动金)	P47	企業誘致による新規就 労者	2人	0人	0人	0人	0人	0人	10人	×	産業観光課		年間の新規就労者数は、把握 しているが、2年目以降は把 握していない。	企業誘致制度指定企業に対し、市民の雇用促進依頼を 行っていく。 また、指定後から現在まで の新規就労者数の調査を行う かどうか検討する。	
-	工業地域における道路整備の推進	P47	事業の推進	_	_ 未着手	_ 未着手	_ 未着手	 未着手	 未着手	検討開始	Δ	都市計画課道路下水道課	未着手	検討に先立ち、「(仮称) 産業振興ビジョン」の策定が 必要である。	「(仮称)産業振興ビジョン」策定を受けて検討を開始 する予定。	
ţ	也域ブランド認証事業の実施	P47	ブランド認証商品数	10品目	11品目	10品目	10品目	11品目	10品目	15品目	Δ	産業観光課	平成27年度に1品目認証 し、11品目となったが、平成 28年度に1品目の認証更新を 出来なかったことから、認証 数は増えていない。 平成29年度に認証プランド シール(小)を新規作成し た。 平成30年度に新たに1品目 認証したため、11品目となっ たが、令和元年度に1品目減 り、10品目となった。	認証ブランドになったこと によるメリットが少ないた め、認証されたことによる優 位性等を明確にする必要があ る。	認証ブランドシールを新規 作成したことに合わせ、制度 のPRを強化していく。 認証店同よのコラボレー ションの品等について、推奨 していきたい。	
<i>†</i>	対山大島紬の振興	P47	体験イベントへの参加者数	90人	100人	196人	206人	251人	268人	140人	©	産業観光課	第3) に、村山大島紬機織り 体験及び小物類の販売を行う	きることから、子ども達から の人気は高いものの、リピー	認知度が上がってきていることから、新たなPR事業を織	
	ウィメンズチャレンジプロジェク ト【再掲】	P 47	セミナー参加者数	_	80人/年	209人/年	740人/年	705人/年	226人/年	120人/年	©	協働推進課	創業・起業支援として創業 塾や創業セミナー、ブチ起業 フェスタ等を開催、再就職支 援として相談会や就職準備講 座等を開催してきた。	再就職等につながる有益な事	引き続きプチ起業フェス タ、起業支援、相談会や講座 等による再就職支援を行って いく。	地方創生先行型事業

武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況一覧(令和元年度末) 基本目標1

	to the state of	総合融政				K	PI				We let the Sec	-t- viic am	A = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	m to that he among	左記課題を踏まえた令和	The la
具体的加	策 事業名称 事業名称	総合戦略掲載ページ	指標	平成26年度 (現況値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度 (目標値)	進捗状況	事業課	令和元年度までの取組	目標値達成への課題	2年度以降の予定・計画	備考
4 時	代のニーズに対応する農業の創造	P 48	認定農業者数	18人	35人	36人	39人	39人	41人	30人	©	産業観光課	市報、ホームページ等で認 定農業者の申請について周知 するとともに、個別相談によ る農業経営改善計画のための 支援を行った。	農業者の高齢化が進んでいるため、農業経営を改善する 意欲のある農業者が減ってきている。	比較的意欲のある若年層を 中心に認定農業者制度の周知 を行い、認定農業者の人数を 増やし得ていく。	
	観光農園等のPRの実施	P 48	観光農園数	8か所	8か所	8か所	9か所	10か所	10か所	8か所	©	産業観光課	等で観光農園PRを実施し	目標は既に達成している が、更なる周知を図るために は、市内観光施設と連携した 観光ルートの設定が必要であ る。	や市ホームページ等でPRを	
	体験型市民農園の開設	P 48	体験型市民農園数	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	3か所	Δ	産業観光課	できそうな生産緑地の抽出を行った。	体験型市民農園は、農業者が指導しながら農業体験をしていただくので、農業者の負担が大きく、農業者の理解を得ることが難しい。	抽出した生産緑地からいく つかの候補地を選定し、農業 委員とともに所有者に農園の 開設について理解を求める。	
	援農ボランティア制度の実施	P48	援農ボランティアの登 録者数	10人	13人	13人	12人	13人	14人	25人	0	産業観光課	の募集を行った。	ボランティアの登録者数と 受け入れる農家のバランスが 取れていないため、せっかく 登録をしてもすぐにボラン ティアの紹介ができない。	調査を行い、ボランティアが 必要な農家の把握とボラン	

体的施策	事業名称	総合戦略掲載ベージ	i Ma Inc	平成26年度	Ti. Non by the	1	P I	Ti. Doo by the	A.T In the	令和元年度	進捗状況	事業課	令和元年度までの取組	目標値達成への課題	左記課題を踏まえた令和 2年度以降の予定・計画	備考
		7440	指標	(現況値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	(目標値)					2年度以降の丁定・計画	
			市外からの平日及び休 日の滞在人口5年間で 5%増	平日:16,274人 休日:17,383人		平日:16,006人 休日:17,321人	平日:16,202人 休日:17,188人	平日:16,658人 休日:16,951人	平日:15,212人 休日:16,445人	平日:17,088人 休日:18,252人 (5年間で5%増)	×	企画政策課	令和元年度は、市外からの 来訪者の増加に向けて、市の 魅力体験コースを2コース設 定するとともに、村山温泉 「かたくりの湯」における自 主事業などを実施した。	続的・定期的な来訪につながる施策が必要である。 特に休日の滞在人口が減少	に基づいた市の魅力の発信、 観光施策の推進、多摩都市モ ノレールの市内延伸に向けた	により、H26年 (H29.3.31決定)及びH30 (R1.10.31決定)の数値 を変更
5 個性豊かな観分	光施策の推進	P49~	広域的観光ルートの設 定		_	_	_	_	2ルート	2ルート	©	産業観光課	武蔵村山の魅力体験コースを東コース、西コースの2コースを設定した。	特になし	今後、関係機関と協力し市 内外に周知を図る。	
			フィルム・コミッショ ンの検 計	研究	研究	研究	研究	研究	研究	検討終了	Δ	産業観光課	ひまわりガーデン武蔵村山 等の撮影に係る情報提供及び 調整を行うとともに、SNS等 を活用し、新たに市の魅力を 動画にて発信した。	り協会を設立し、当該協会の		
	材山祖島「かたくりの港」周辺を		市民参加による歴史散策コースの設定	-	0コース	0コース	0コース	0コース	2コース	3コース	0	文化振興課	文化財保護審議会において、これまで6回にわたり、 新たな歴史散策コースの設定について審議し、令和元年度 に市南西コース、南東コース の2コースを設定した。	新たなコース設定には、検討	今後、歴史散策コースの テーマ別の分類方法等を検討 する。	
村山温泉「	かたくりの湯」周辺を	P 50	観光ルートの設定	検討	_	_	_	_	2ルート	2ルート	©	産業観光課	狭山丘陵観光連携事業とし て周辺自治体等とかたくりの	温泉施設の利用者数が増加 してきたが、新型感染症の流 行により閉館等をしたため、	図るため、自主事業等の充	
核とした交流	核とした父流エリアの形成	F 50	村山温泉「かたくりの 湯」の入場者数	180, 197人/年	191,594人/年	190,608人/年	6,208人/年	158,958人/年	155,744人/人	200,000人/年	×	庄未敬儿 咏	湯周辺のルートの検討を進め 作成した。	目標人数を達成出来なかった。	実、食事メニューの研究等を 行う。	
広域的観光		P 50	広域的観光ルート	l	_	_	-	ı	2ルート	2ルート	©	産業観光課	狭山丘陵観光連携事業とし て周辺自治体等と検討を進め 作成した。	特になし	今後、関係機関と協力し市 内外に周知を図る。	
観光PR映像(の制作	P50	村山温泉「かたくりの 湯」の入場者数	180, 197人/年	191, 594人/年	190,608人/年	6,208人/年	158, 958人/年	155, 744人/人	200,000人/年	×	産業観光課	温泉施設の安定的な運営を 図るため、多目的ホールを使 用して自主事業を実施した。 また、温泉施設に対すう能な限 り速やかに改善を図った。	温泉施設の利用者数が増加 してきたが、新型コロナウイ ルス感染症の流行により閉館 等をしたため、目標人数を達 成出来なかった。	温泉施設の利用者の増加を 図るため、自主事業等の充 実、食事メニューの研究等を 行う。	地方創生先行型事業
武蔵村山の5 掲】	魅力教え隊の活用【再	P 50	武蔵村山の魅力教え隊 隊員数	_	78人	304人	407人	531人	555人	500人	©	秘書広報課	ホームページ等で隊員募集 を掲載している。	特になし	市報、SNSで隊員募集に加え、各種イベントで募集を 行う。	
フィルム・対検討	コミッションの研究・	P 50	事業の研究・検討	研究	研究	研究	研究	研究	研究	検討終了	Δ		ひまわりガーデン武蔵村山 等の撮影に係る情報提供及び 調整を行うとともに、SNS等 を活用し、新たに市の魅力を 動画にて発信した。	令和2年度に観光まちづく り協会を設立し、今後当該協 会の収益事業として実施す る。	観光まちづくり協会の収益 事業 (ロケーションサービ ス) として実施予定。	
観光マップの	の作成	P50	観光マップの多言語化	_	_	_	-	-	-	実施	Δ	産業観光課	多言語化を含めた観光マップの仕様について検討した。	ガイドブックの作成により、訪日外国人が観光に訪れることを目指すが、外国人に対応できる者、案内板等の対応が図れていない。		
文化財の観	光資源としての活用	P 50	市民参加による歴史散策コースの設定	-	0コース	0コース	0コース	0コース	0コース (文化財保護審議会 と協議し、2コース 設定)	3コース	Δ	文化振興課	文化財保護審議会において、これまで6回にわたり、新たな歴史散策コースの設定について審議し、令和元年度に市南西コース、南東コースの2コースを設定した。	新たなコース設定には、検討	今後、歴史散策コースの テーマ別の分類方法等を検討 する。	
市民まつりり)の開催	(村山デエダラまつ	P51	来場者数	75,000人/年	72,000人/年	67,000人/年	8,000人/年	70,000人/年	70,000人/年	77,000人/年	Δ	産業観光課	市民と市の協働により、地域の活性化と観光振興を目指したまつりを開催し観光振興 に努めた。	まつりを開催するにあたり、協賛金等が年々減少していることから、現状の規模のまつりを開催することが困難になってきている。	変更する。また、協賛者への	

武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況一覧(令和元年度末) 基本目標1

	alle Me et	総合融軟				K	I P I				Mild II No	-t- vite am	45-141-15	m to block to a small	左記課題を踏まえた令和	We be
具体的施策	事業名称	総合戦略 掲載ベージ	指標	平成26年度 (現況値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度 (目標値)	進捗状況	事業課	令和元年度までの取組	目標値達成への課題	2年度以降の予定・計画	備考
	観光納涼花火大会の開催支援	P51	観客動員数	65,000人/年	60,000人/年	29,000人/年	62,000人/年	70,000人/年	62,000人/年	68,000人/年	Δ	産業観光課	観光納涼花火大会の開催を 支援し、観光振興の活性化を 図った。	野山北公園運動場を会場と しているが、近年、観覧者が 増加しており、入場できない 場合がある。	打ち上げ場所、観覧場所の検 討	
	ひまわりガーデン武蔵村山の開園	P51	来場者数	8, 188人/年	12, 335人/年	20,385人/年	30,602人/年	22, 265人/年	17,391人/年	32,000人/年	0	産業観光課	び市内商店のクーポン券の配	市民等の協力を得て開園期間中のイベント等の充実を図り、市内外からの来園者の増加を図る必要がある。	令和元年度に暫定管理用地 の一部を東京都へ返還し、面 積が減少したが、来園者の減 にならないような方策を検討 する必要がある。	事業継続予定及び来場者 数増加傾向のため、H31 年度目標値を変更 (H29.8.25決定)
	ウォーキングイベントの開催支援	P51	参加者数	1,264人	350人	1,100人	386人	_	_	1,500人	×	産業観光課	平成29年度までは市内外の 回遊者の確保を行い、観光の 振興及び地域の活性化を図っ た。また、Foodグランプ リとの同時開催を行った。	(平成29年度末事業廃止)	(平成29年度末事業廃止)	
	グリーンヘルパー制度の充実	P51	グリーンヘルパー1級 取得者数	1人	1人	1人	10人	10人	10人	4人	©	環境課	平成28年度にグリーンへルパー1級育成講座を開催し、9人が取得したことから、合計10人が継続維持している。 平成29年度から毎年1回「意見交換会」の開催を継続している。	特になし	グリーンヘルパーとの意見 交換会、環境視察等を継続開 催する。	

	事業名称	総合戦略				K	I P I								左記課題を踏まえた令和	
具体的施策	事業名称	掲載ベージ	指標	平成26年度 (現況値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度 (目標値)	進捗状況	事業課	令和元年度までの取組	目標値達成への課題	2年度以降の予定・計画	備考
6 利	便性の高い公共交通網の形成	P 52	市内循環パス路線の1 便当たりの年平均輸送 人員	5人	5. 51人	5. 45人	5. 40人	5.61人	5. 36人	6人	0	交通企画・モ ノレール推進 課	+-	実施済の利用促進策について更なる改善を図るとともに、市報等での周知を継続していく。一部ルートにおける利用者数の低迷が課題となっている。	実施済の利用促進策について更なる改善を図っていく。 また、路線の効率化に向けた 見直しのあり方の検討を進め ていく。	
	多摩都市モノレール延伸の促進	P 52	事業の推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進	0	交通企画・モ ノレール推進 課	・要望活動 (2市1町、多摩 地域都市モノレール等建設促 進協議会) ・多摩都市モノレール基金積 立及び募金活動 ・調査委託 ・PR推進事業 (モノレール 関連物品作製・販売等)	延伸の事業化に当たって は、事業採算性の確保が重要 であり、モノレールの需要の 喚起に資するまちづくりのよ り一層の推進が必要である。	ともに、モノレールの需要の 喚起に資するまちづくりのあ	
	市内循環バス路線の検討	P 52	1便当たりの年平均輸送人員	5人	5.51人	5. 45人	5. 40人	5.61人	5. 36人	6人	0	交通企画・モ ノレール推進 課	I Cカードによる運賃支払 において、バス特典利用サー ビス (バス特) の導入を行っ た。 中学生以下を対象としたク イズラリーを実施した。) - ++11 kk 0 1 1 km + (N) (d+)	実施済の利用促進策について更なる改善を図っていく。 また、路線の効率化に向けた 見直しのあり方の検討を進め ていく。	
7 KZ	ぎわいと活力のあるまちづくり	P 53	都市核地区土地区画整 理事業施行地区内の新 青梅街道拡幅用地の確 保率	約23%	約46%	約55%	約84%	約90%	約96%	100%	0	区画整理課	都市核地区土地区画整理事 業施行地区内の新青梅街道拡 幅部の用地を確保するために 後背地の区画道路を築造し、 沿道建築物等の移転を推進し た。		保留地処分の公売を継続して実施し、事業費の確保に努める。	
	新青梅街道拡幅用地の確保	P53	都市核地区土地区画整 理事業施行地区内の新 青梅街道拡幅用地の確 保率(延長ベース)	約23%	約46%	約55%	約84%	約90%	約96%	100%	0	区画整理課	都市核地区土地区画整理事 業施行地区内の新青梅街道拡 幅部の用地を確保するために 後背地の区画道路を築造し、 沿道建築物等の移転を推進し た。		保留地処分の公売を継続して実施し、事業費の確保に努める。	
	新青梅街道沿道の用途地域等の変 更及び地区計画の策定	P53	新青梅街道沿道地区に おける地区計画の累計 届出件数		— 地区計画 未策定	— 地区計画 未策定	0件	0件	0件	10件	Δ	都市計画課	平成29年度に新青梅街道沿 道第一地区の地区計画、令和 元年度に第四地区の地区計画 を策定した。	拡幅整備事業の進捗に合わせて地区計画を策定するため、用地取得状況等によって地区計画策定時期が不確定である。	令和3年度に、第二地区の 地区計画等を決定し、合わせ て東京都に対し事業の早期進 展を要望する。	
	企業誘致制度の拡充(新青梅街道 沿道) 【再掲】	P 53	企業誘致制度の対象拡 大		検討	検討	検討	検討	検討	検討終了	Δ	産業観光課	新青梅街道沿線地区まちづくり計画の推進状況等を都市 計画課から情報共有を図って いる。	新青梅街道沿線の建物等の 土地取得割合(借地かどう か)の調査。	引き続き、新青梅街道沿道 地区まちづくり計画の推進状 況を勘案しながら、検討を進 める。	

基本目標2:若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標の基本的な考え方:地域の実情に即し、結婚・妊娠・出産・育児をしやすい地域づくりに向けた環境整備等の取組を推進することにより、安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会を目指す。

※重要素練評価指標(KPI)の進捗状況 ③:目標値達成 △:現況値から横ばい ×:現況値を下回っている ー:数値が判明していない

H 11 11 11 15	-bylk, to et	総合能拡					KPI				Me late 11s New	-t- Masm	A 7 - 5 - 5 - 7 - 7 - 7 - 7	D DE GANDS D AM DE	左記課題を踏まえた令和	111-1-
具体的施策	事業名称	総合戦略掲載ページ	指標	平成26年度 (現況値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度 (目標値)	進捗状況	事業課	令和元年度までの取組	目標値達成への課題	2年度以降の予定・計画	備考
			合計特殊出生率	1. 38	1. 42	1. 38	1. 34	1. 55	一 (現在未公開)	1. 60	_		_	_	_	
	基本目標 2	P 54	「武蔵村山市は安心し て子どもを産み育てる ことができるまちだと 思う」人の割合	64.6%	 アンケート調査 未実施	 アンケート調査 未実施	 アンケート調査 未実施	72. 1% (※)	— アンケート調査 未実施	70%以上	_	子ども青少年課	第二期子ども・子育て事業 計画策定のためのアンケート 調査結果を踏まえ、第二期子 ども・子育て事業計画を策定 した。	特になし	第二期子ども・子育て事業 計画に掲げる基本目標4の子 育でを支援する安全・安心な 生活環境整備の事業を推進し ていく。	
1 婚活^	の支援	P 55	市が支援を行う婚活イベントへの参加者数	12人	12人	0人	0人	0人	0人	90人	×	子ども青少年 課 関係各課	平成27年度までは総合型地 域スポーツクラブにおいて、 婚活イベントを年2回行って いた。	て、市がどのように支援でき	— (平成29年度末事業廃止)	
	婚活イベントを行う団体等への支援	P 55	イベントの開催回数	1回/年	1回/年	0回/年	未実施	未実施	0人	3回/年	×	子ども青少年 課 関係各課	平成27年度までは総合型地 域スポーツクラブにおいて、 婚活イベントを年2回行って いた。	て、市がどのように支援でき	(平成29年度末事業廃止)	
2 子ども り (1)子育て情	。とお出かけしやすいまちづく 報の提供	P 56	子育で情報サイトアク セス数	-	4, 109件/月	4,653件/月	4, 963件/月	4, 229件/月	(事業廃止)	5,000件/月	×		「子育で情報サイト」を廃 止し、スマートフォンで、妊 娠中から子供の健診記録、子 育てイベントの確認ができる 「子ども・子育で応援ナビ」 に切り替えた。多言語表記も されることから、より市民の 利便性が高まった。		妊娠期から子育で期の長期間にわたり利用できるアプリであることを積極的に周知し、市民に活用してもらう。	
	子育で情報サイト運用事業	P 56	子育で情報サイトアク セス数	_	4, 109件/月	4,653件/月	4, 963件/月	4, 229件/月	(事業廃止)	5,000件/月	×		「子育て情報サイト」を廃 止し、スマートフォンで、妊 振中から子供の健診記録、子 育てイベントの確認ができる 「子ども・子育て応援ナビ」 に切り替えた。多言語表記も されることから、より市民の 利便性が高まった。		妊娠期から子育で期の長期間にわたり利用できるアプリであることを積極的に周知し、市民に活用してもらう。	地方創生先行型事業 「子ども・子育て 応接ナビ」アクセ ス数は令和2年3月 30,857件/月
(2)子どもと	の快適な外出	P 57	移動式赤ちゃんの駅の 市主催事業での利用件 数及び地域イベント等 への貸出件数	_	2件/年	4件/年 村山デエダラまつり Food (風土) グランブ リ 観光納涼花火大会 第三小学校運動会	3件/年 村山デエダラまつり Food (風土) グランプ リ 観光納涼花火大会	5件/年 村山デエダラまつり 市民会館事業 Food (風土) グランプ リ 観光納涼花火大会	4件/年 村山デエダラまつり 市民会館事業 観光納涼花火大会 小中一貫校村山学園	5件/年	0	子ども子育て支援課		イベントを実施する際に は、移動式赤ちゃんの駅が利 用できることを関係各課周知 する必要がある。		
	移動式赤ちゃんの駅貸出事業	P 57	地域イベント等での活 用	_	2件/年	2件/年 観光納涼花火大会 第三小学校運動会	1件/年 観光納涼花火大会	1件/年 観光納涼花火大会	3件/年 市民会館事業 観光納涼花火大会 小中一貫校村山学園	3件/年	©	子ども子育て支援課	市内の3つのイベントにお いて、貸出事業を行った。	市報及びホームページでの 周知と、地域イベントでの貸 出が定着し目標は達成されて いる。	月 付 が は が で か で か で か で か で か で か で か で か で か で	地方創生先行型事業
(3)親と子の	居場所づくり	P 58	「武蔵村山市は安心し 下ぎもを産み育てる ことができるまちだと 思う」就学前児童の保 護者の割合	64.0%	ー アンケート調査 未実施	ー アンケート調査 未実施	ー アンケート調査 未実施	72.8%	ー アンケート調査 未実施	70%以上	_	子ども青少年課	第二期子ども・子育て事業 計画策定のためのアンケート 調査結果を踏まえ、第二期子 ども・子育て事業計画を策定 した。	特になし。	第二期子ども・子育て事業 計画に掲げる基本目標4の子 育てを支援する安全・安心な 生活環境整備の事業を推進し ていく。	
	児童館の子育て支援拠点化の推進	P 58	実施児童館数	_	6か所	6か所	6か所	6か所	6か所	6か所	©	子ども青少年課	29年度は「児童館親子ひろ ば事業委託」として開催30 回・利用者数995人、30年度 は開催20回・利用者教1,176 人、元年度は委託先を増し開 催45回・利用者教1,355人、 とし児童福祉の向上を図っ た。	利用者ニーズに合わせた、 事業内容及び事業拡充に伴う 予算確保。	利用者ニーズに合わせた、 事業内容及び事業拡充に伴う 予算確保。	
			絵本の読み聞かせ実施 回数及び参加者数(わ くわくタイム)	_	40回/年 801人/年	40回/年 777人/年	46回/年 639人/年	46回/年 1037人/年	48回/年 476人/年	20回/年 400人/年	©	子ども青少年課	ば事業」としてスタートし児	利用者ニーズに合わせた、 事業内容及び事業拡充に伴う 予算確保。	利用者ニーズに合わせた、 事業内容及び事業拡充に伴う 予算確保。	地方創生先行型事業
	絵本の読み聞かせ事業	P 58	絵本の読み聞かせ実施 回数及び参加者数(お はなしの会)	108回/年 954人/年	110回/年 870人/年	109回/年 909人/年	104回/年 961人/年	114回/年 1,014人/年	108回/年 928人/年	144回/年 1,080人/年	0	図書館	7月及び8月期の夏季休暇に 合せて開催回数を増やした。		令和2年6月に図書館のホームページをリニューアルし、スマートフォンでも見やすくし、PRを工夫したい。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月の開催を8回分中止した。

具体的施策	事業名称	総合戦略掲載ページ	指標	平成26年度 (現況値)	平成27年度	平成28年度	KPI 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度 (目標値)	進捗状況	事業課	令和元年度までの取組	目標値達成への課題	左記課題を踏まえた令和 2年度以降の予定・計画	備考
	、、子育ちと子ども家庭の支援 ・子育ちの支援	P 59	認可保育所の入所待機 児童数	30人 平成26年4月1日の	22人 平成27年4月1日の 待機児童数(旧定 義)		27人 平成29年4月1日の待機 児童数(旧定義)	57人 平成30年4月1日の待機 児童数(旧定義)	44人 平成31年4月1日の待機 児童数(旧定義)	0人	×	子ども青少年講	保育所に対して弾力的運用 による受け入れ態勢の確保及 び保育士の処遇改善や宿舎借 上補助を行い、保育士の確保 に努めた。	の量の見込み及び確保方策等	令和元年度に策定した第二 期子ども・子育て支援事業計 画における教育・保育の量の 見込みを踏まえ、子どもの受 け入れ体制を確保する。	
	保育コンシェルジュ事業の実施	P 59	実施箇所数	_	0か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	0	子ども青少年讃	平成28年4月から事業を実施しており、保育サービスに 保る情報の収集・提供、相談対応、利用の援助・支援に努めた。	特になし	令和2年度以降も継続して 実施する。	
	延長保育の充実	P 59	延長保育の実施保育所 数	10か所	10か所	11か所	11か所	11か所	11か所	13か所	0	子ども青少年講	平成28年4月から1園、開 所時間を1時間拡大し、延長 保育を実施している。		実際のニーズを確認し、実 施設数について検討を行う。	
	休日保育の充実	P 59	休日保育の実施保育所 数(日曜日・祝日の保 育)	_	0か所	0か所	0か所	0か所	0か所	1か所	Δ	子ども青少年課	実施可能な保育所と協議を 行い、実施に向けての調整を 行った。			
	病児・病後児保育事業の実施	P 59	設置数及び延べ利用者数	1か所 30件/年 (病後児のみ)	1か所 30件/年 (病後児のみ)	1か所 44件/年 (病児・病後児)	1か所 234件/年 (病児・病後児)	1か所 290件/年 (病児・病後児)	1か所 396件/年 (病児・病後児)	1か所 50件/年 (病児・病後児)	©	子ども子育て支援部	病児保育の対象児童を拡大 とたことにより、利用者が前 年度より大幅に増加した。		引き続き、病児保育の周知 に努める。	
(2)妊娠から	出産、育児の切れ目のない支援	P 60	(仮称) 子育て世代包 括支援センターの整備	_	推進	設置準備	1か所	1か所	1ヵ所	1か所	©	子ども子育て支援部	. 設置済	子育て世代包括支援セン ターを市民に広く周知する。	各種健診やデエダラまつり 等の機会を利用し、チラシ配 布等を行い市民に広く周知す る。	
	(仮称) 子育て世代包括支援センターの整備	P 60	施設の整備	_	推進	設置準備	1か所	1か所	1ヵ所	1か所	0	子ども子育て支援部		子育て世代包括支援セン ターを市民に広く周知する。	各種健診やデエダラまつり 等の機会を利用し、チラシ配 布等を行い市民に広く周知す る。	
(o) 			乳幼児に対する3日分 の備蓄率(使い捨て哺 乳瓶、子ども用迷子 札、粉ミルク等)	_	生活用品100% 乳児用食品88.2% 幼児用食品25.0%	100%	100%	100%	100%	100%	©		平成27年度に市内各児童館 へ備蓄庫を設置し、使い捨て 哺乳瓶、子ども用迷子札など を配備した。平成28年度の追 加備蓄により、乳幼児向けの 備蓄率を100%とした。		保存年限に合わせ定期的に物資の更新を行う。	
(3)+2 60	○安心・安全の確保	P61	放課後子ども教室実施 校数	6校	7校	7校	7校	7校	7校	9校	0	文化振興課	平成27年度に1校を新規開設した。その後も引き続き、 残り2校の開設の検討を継続 している。	未開設校については、空き 教室等の場所確保が困難であ る。また、現状の開設校教で も児童を見守るサポーター数 が不足気味であり、新規開設 の課題の一つとなっている。	令和4年度の開設を目指 し、調整を図っていく。	
	子ども・乳幼児のための防災用品備 蓄事業	P 61	子ども・乳幼児が避難 した避難所等に物資を 補給する連携訓練の実 施	_	1回	0回	1回/年	1回	1回	1回/年	0	子ども青少年讃	各児童館における防災訓練で対応した。	食品類の保存年限が令和2 年度の物もあるため、随時物 資の入れ替えが必要である。	保存年限に合わせ定期的に 物資の更新を行う。	地方創生先行型事業
	予防接種情報システム導入事業	P61	登録者数	_	518件 (H27.7月~H28.3 月)	406件	371件/年	316件/年	318件/年	400件/年	0	健康推進課	生後初めての予防接種予診 票を送付する際に予防接種情 報システムの案内チラシを耐 封し、周知を図った。また、 転入者には予防接種予診票を 交付する際に案内チラシを交 付し周知を図った。	目標値の登録者数は確保できなかったが、乳幼児健診等の機会を捉え、更に周知を8	継続して実施する。	地方創生先行型事業
	放課後子ども教室の充実	P61	放課後子ども教室実施 校数	6校	7校	7校	9校	7校	7校	9校	0	文化振興課	設した。その後も引き続き、	未開設校については、空き 教室等の場所確保が困難であ る。また、現状の開設校数で も児童を見守るサポーター が不足気味であり、新規開設 の課題の一つとなっている。	し、調整を図っていく。	
	放課後子ども総合プラン事業の推進	P61	ー体型の運営を行う学 童クラブ及び放課後子 ども教室の設置数	_	2か所	2か所	4か所	4か所	4か所	2か所	0	子ども青少年課 文化振興課	平成29年度から新たに2か 所、計4か所で事業を実施し ている。その後も4か所にお ける事業内容の充実を図って いる。		連携型の事業内容に関し、 充実を図っていく。	
(4)	子どもの貧困対策の推進	P 62	子どもの貧困対応プラ ンの策定	_	情報収集	情報収集	調査方法の検討	実態把握 (アンケート調査の実 施)	秦案策定	策定	0	福祉総務課関係各課	平成30年度に実施した「生 活実態調査」及び「ひとり親 家庭等ニーズ調査」報告に基 づき、子どもの未来応接プラン(仮称)策定のため、地域の 実情及び市民の意見を反映す るため、武蔵村山市子どもの 未来応接プラン策定懇談会を 開催し、素案を策定した。	意見公募に基づく、素案の 修正作業について、コンサル タント事業者とともに進め る。	子どもの未来応援プラン策 定	

	the Mile As and	↔ △ ※ ● ★ ▼					KPI				W. I. J. 15.5-	-tervite etm	45-4-4-1	and the desired of the same of	左記課題を踏まえた令和	
具体的施策	事業名称	総合戦略 掲載ページ	指標	平成26年度 (現況値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度 (目標値)	進捗状況	事業課	令和元年度までの取組	目標値達成への課題	2年度以降の予定・計画	備考
	子どもの貧困対応プランの策定	P 62	子どもの貧困対応プランの策定	1	情報収集	情報収集	調査方法の検討	実態把握 (アンケート調査の実 施)	素案策定	策定	0	福祉総務課 子ども・子育 て支援課 関係各課	平成30年度に実施した「生 活実態調査」及び「ひとり親 家庭等ニーズ調査」報告に基 づき、子どもの未来応援ブラン(仮称)策定のため、ためと反映す るため、武蔵村出市子どもの 未来応援ブラン策定懇談会を 開催し、素案を策定した。	意見公募に基づく、素案の 修正作業について、コンサル タント事業者とともに進め	子どもの未来応援プラン策 定	
(5)子育てる	と仕事を両立する環境づくり	P63	ワーク・ライフ・バラ ンス推進事業所の認定 件数	-	0件	0件	0件	0件	0件	4件	-	協働推進課	の天忠を拒強し、ての和木を 助オネテムfaoに廃ふさの答	認定により、事業者がメ	基づき、認定制度を構築し、	
	市民、事業所におけるワーク・ライフ・バランスの推進	P63	ワーク・ライフ・バラ ンス推進事業所の認定 件数	_	0件	0件	0件	0件	0件	4件	_	協働推進課	サナミー人ものとはよるのか	認定により、事業者がメ リットを感じられる内容を検 討する必要がある。また、認 定できる企業を継続的に掘り 起こしていく必要がある。	基づき、認定制度を構築し、	
	男性市職員の育児休業の取得促進	P63	男性市職員の育児休業 取得率	0%	11%	0%	14. 3%	16. 7%	22. 2%	10%	0	職員課	新たに取得可能となった男性職員に対し、各種制度を紹介した冊子「すこやかな成長を願って」を配布し、育児休業の説明をするなど、取得促進を図った。	上させるため、職場全体の意 識改革のみならず、育児休業	職員及びその所属長に対し、 育児休業取得の提案及び個人 の事情等に配慮した具体的な	

		AD A 275-MA					KPI								左記課題を踏まえた令和	
具体的施策	事業名称	総合戦略掲載ページ	指標	平成26年度 (現況値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度 (目標値)	進捗状況	事業課	令和元年度までの取組	目標値達成への課題	2年度以降の予定・計画	備考
4 子ども	の知力・体力の向上	P 64	高校進学に際して第一 志望校へ合格する割合	_	60%	81%	79. 4%	83. 2%	87. 9%	80%	0	教育指導課		異なることから、継続的に目	各中学校区及び各学校の実態に応じたキャリア教育の充実を図るため、進路指導主任会等で各学校の取組の情報交換するとともに、その方向性について検討していく。	
	小・中学校特進講座	P64	受講者の市学力調査 (中1数学)の正答率 が80%以上になる割合	_	41%/年	25.8%/年	33. 5%/年	-	-	80%/年	×	教育指導課	平成27年度から平成29年度までは、市内全小・中学校に塾講師を派遣し、学習支援を実施した。 東京30年度は、市内全中学校に塾講師を派遣した。 平成30年度は、市内全中学校に塾講師を派遣し、学習支援を実施した。	(平成30年度末事業廃止)	一 (平成30年度末事業廃止)	地方創生先行型事 業
	市学力調査の実施	P 64	全国平均正答率を100% とした場合の平均正答 充足率	80%/年	89%/年 (H27.4月実施)	国語90.5%/年 数学87.7%/年 (H28.4月実施)	国語93.6%/年 数学91.5%/年 (H29.4月実施)	国語91.5%/年 数学93.1%/年 (H30.4月実施)	国語92.9%/年 数学88.0%/年 (H31.4月実施)	90%/年	0	教育指導課	各学校において、基礎的・ 基本的な知識及び技能の定着 を図るための授業改善や取組 の充実を図った。	分析結果から、例年生徒が 苦手とする分野について把握 できており、確実に身に付け るための反復学習が課題であ る。	て作成した個々の分析データ	
	英語検定の実施	P64	各級の合格率	_	33. 9%	35. 0%	31. 3%	33. 1%	34. 5%	50%/年	Δ	教育指導課	中学校第3学年生徒を対象 に、技能試験合格という具体 的な目標を持たせることによ り学習に対するチャレンジ精 神を高揚し、学力向上を図る ため奏語検定を実施してい る。	「百俗学に及吹しているとは言	全生徒から希望者に変更し、 挑戦する意欲の向上を図って	地方創生先行型事
	部活動支援事業の実施	P64	対象部活動の入部者数	_	部員数12.3%減 (H26年度比)	部員数21.1%減 (H27年度比)	部員数31.8%減 (H27年度比)	-	-	部員数20%增(H27 年度比)	×	教育指導課	平成29年度までは、委託事業として中学校の1競技について専門的な外部指導員を派遣し、技能面や戦術面の指導を行った。 基づき市の部活動ガイドラインを策定し、希望校に部活動支援員を配置した。	一 (平成29年度末事業廃止)	一 (平成29年度末事業廃止)	地方創生先行型事業
5 教育環	境の整備	P 65, 66	適応指導教室からの学校復帰率	6%	10. 3%	13. 3%	0%	9.1%	12%	10%以上	0	教育指導課	づらくなった児童・生徒への	適応指導教室に通う児童・ 生徒の困り感の多様化に伴う 支援・指導の専門性の向上 や、多様化に伴う他関係機関 とのより深い連携が求められ ている。		
	小中一貫教育の推進	P 65	小中一貫校の推進	1校	2校	2校	2校	2校	2校	4校	0	教育指導課	推進してきた。また、令和元	取組を継続しつつ、施設分離型小中一貫校について地域・ 保護者への十分な説明をして		
	特別支援教室の設置	P 65	設置校数	_	3校	3校 平成29年4月から 6校	6校 平成30年4月から9校	9校 令和元年4月から 12校	12校 令和2年4月から 14校	9校	0	教育指導課	小学校においては、平成30 年4月までに全校に開設をし た。中学校においては、令和 元年度に3校開設し、残る2校 は令和元年度末までに整備を 進めた。	性にかし	令和2年度に、中学校2校に 特別支援教室を開設すること により、全ての小・中学校へ の特別支援教室の設置が完了 する。	
	教育相談室事業・スクールソーシャ ルワーカー事業 スクールカウンセラーの配置	P 66	不登校出現率		小学校: 0.43%/年 中学校: 4.94%/年		小学校: 0.41%/年中学校: 4.12%/年	小学校: 0.79%/年中学校: 5.05%/年	小学校:0.86%/年 中学校:5.42%/年	小学校: 0.3%/年 中学校: 3%/年	×	教育指導課	員が家庭訪問をして、引きこ もり傾向のある児童・生徒の	るための授業改善や特別支援 教育の推進を図り、学校の不	学力向上推進委員会での学 力向上に資する取組の検討を 推進するとともに、研修会等 を通して、全ての教員の特別 支援教育に関する識見の向上 を図っていく。	
	適応指導教室事業の実施	P 66	学校復帰率	一部:26%/年 完全:6%/年	一部:26%/年 完全:10.3%/年	一部:20%/年 完全:13.3%/年	一部:40%/年 完全:0%/年	一部:22.7%/年 完全:9.1%/年	一部: 20.0%/年 完全: 12.0%/年	一部:30%/年 完全:10%/年	0	教育指導課	づらくなった児童・生徒への	適応指導教室に通う児童・ 生徒の困り感の多様化に伴う 支援・指導の専門性の向上 や、多様化に伴う他関係機関 とのより深い連携が求められ る。		

基本目標3:時代にあった地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

基本目標の基本的な考え方:世代にかかわらず、誰もが住み慣れた地域で、住み続けたいと思うまちづくりを目指す。

※重要集績評価指標(KPI)の進捗状況 ③:目標値達成 ○:H26年度現況値を上回っている △:現況値から横ばい ×:現況値を下回っている -:数値が判明していない

	1.276.4	60. A 22h 80				K	I P I				.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				左記課題を踏まえた令和	arr. to
具体的施策	事業名称	総合戦略 掲載ページ	指標	平成26年度 (現況値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度 (目標値)	進捗状況	事業課	令和元年度までの取組	目標値達成への課題	2年度以降の予定・計画	備考
	基本目標3	P 67	居住年数20年以上の人 の割合	58.8% (H25年度)	 アンケート調査 未実施	 アンケート調査 未実施	 アンケート調査 未実施	57. 8%	 アンケート調査 未実施	60% (H30年度市民意 識調査による)	_	企画政策課	平成30年度に、第五次長期総合計画等を策定するための市民意識調査を実施し、状況の把握に努めた。	回っており、居住年数20年以	防災・防犯における共助や 地域福祉の拡充はもとより、 地域共生社会の実現を目指 し、誰もがいきいきと住み続 けられるまちづくりを目指 す。	
	密学口 保 3	F 01	20歳代の転出者割合	11. 7%	12. 9%	13. 3%	13.5%	12.6%	13. 7%	10%以下	×	企画政策課	住み続けたいと思うまちづくりに係る各種施策を実施した。	近年、20代の転出者割合が 増加傾向にあり、若年層の転 出抑制を図るためには課題が 残っている。	総合戦略に基づき、若年層を	
1 生活利便	性の高いまちづくり	P 68	買い物等日常生活の利 便性の満足度	_	64. 7%	ー アンケート調査 未実施	アンケート調査 未実施	61. 5%	アンケート調査 未実施	70%以上	_)	平成30年度に、武蔵村山市 第二期まち・ひと・しごと創 生総合戦略策定に係る各種意 職調査を実施し、状況を把握 するとともに、令和元年度に は、武蔵村山市第二期まち・ ひと・しごと創生総合戦略を 策定した。	せるためには課題が残ってい	るまちづくりなど、効果的な	転入者意向調査で の満足度
	乗合タクシーの運行	P68	利用者数	3,520人/年	4,119人/年	4,821人/年	4,680人/年	4,028人/年	3,498人/年	4,400人/年	×	交通企画・モ ノレール推進 課	市報等による周知及び残 堀・伊奈平地区会館にて利用 者登録出張受付を行った。 利用登録者と同乗する者が 介時かつ同一場所で乗降すれば 誰でも同乗できるようにし た。	年)を達成したものの、その 後利用者数が減少に転じ、目 標値を割り込んだことから、	年齢、回数、時間帯、乗降 場所といった区分毎の利用実 態を踏まえ、利用促進に繋が る原因分析や利用促進策の検 討及び実施を進めていく。	
	多摩都市モノレール延伸の促進 【再掲】	P 68	事業の推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進	0	交通企画・モ ノレール推進 課	・要望活動 (2市1町、多摩地域都市モノレール等建設促進協議会) ・多摩都市モノレール基金積立及び募金活動 ・調査委託 ・PR推進事業 (モノレール 関連物品作製・販売等)	延伸の事業化に当たって は、事業採算性の確保が重要 であり、モノレールの需要の	引き続き、市内の機運醸成のための取組を行っていくとともに、モノレールの需要の 喚起に資するまちづくりのあり方を検討していく。	
	市内循環バス路線の検討【再掲】	P68	1便当たりの年平均輸 送人員	5人	5.51人	5. 45人	5.40人	5.61人	5.36人	6人	0	交通企画・モ ノレール推進 課	I Cカードによる運賃支払 において、バス特典利用サー ビス (バス特) の導入を行っ た。 中学生以下を対象としたク イズラリーを実施した。	て更なる改善を図るととも	実施済の利用促進策について更なる改善を図っていく。 また、路線の効率化に向けた 見直しのあり方の検討を進めていく。	

		40.4.00-0				K	PI								左記課題を踏まえた令和	
具体的施策	事業名称	総合戦略 掲載ページ	指標	平成26年度 (現況値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度 (目標値)	進捗状況	事業課	令和元年度までの取組	目標値達成への課題	2年度以降の予定・計画	備考
			地域みんなでまちづく り会議の設置数	4区域	6区域	9区域	9区域	9区域	9区域	9区域	©	協働推進課	市内9区域にまちづくり会議を立ち上げ、運営を支援してきた。	会議の内容が固定化される 傾向にあるため、若い人の斬 新な意見や、誰もが気軽に参 加できるような会議に改めて いくことが必要である。		
2 安心して	暮らせるまちづくり	P 69, 70	多摩直下地震最大避難 者数3日分の備蓄率	65. 1%	78. 7%	91. 9%	96.0%	90. 3%	101.2%	100%	©	防災安全課	災害対策用備蓄物資の計画において令和元年度までに通成できるよう6年間計画的に購入を取組んだ。	メニューで配分するか。また、食物アレルギー者や乳幼	多摩直下地震最大避難者数に対応した食料の備蓄計画を継続するほか、食物アレルギー者に対応した特定原材料等アレルギー不使用食品や、乳幼児に配慮した液体ミルク等の災害時食料を計画していく。	- -
	災害対策用備蓄物資の計画的な購 入	P 69	多摩直下地震最大避難 者数3日分87,399食の 備蓄	56, 930食	68,810食	80,280食	83,860食	78, 920食	88,440食	87, 399食	©	防災安全課		メニューで配分するか。また、食物アレルギー者や乳幼	多摩直下地震最大避難者数に対応した食料の備蓄計画を継続するほか、食物アレルギー者に対応した特定原材料等アレルギー不使用食品や、乳幼児に配慮した液体ミルク等の災害時食料を計画していく。	備蓄目標見直しの ため、指標の備蓄 食数及びH31年度 目標値を変更 (H29 8 25決定)
	災害ボランティアセンター設置・ 運営訓練の実施	P 69	災害ボランティアセン ター設置・運営訓練の 実施	_	1回/年	0回/年	1回/年	1回/年	0回/年	1回/年	×	協働推進課	社会福祉協議会及びボランティア・市民活動センターと協力して、市民やボランティアも参加しての災害ボランティアも参加しての災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練を行ってきた。	ターについて、広く市民やボ	訓練結果を検証し、マニュアルを更新していくことで、 災害時に迅速な対応ができる 体制を整えていく。また、講 演会等を企画し、広く市民等 の理解を深めていく。	練に代わり、講演 会を企画したが、 新型コロナウイル
	マンホールトイレの設置	P70	設置基数	_	0基	25基	50基	75基	75基	75基	©	道路下水道課	平成28年度から30年度まで の三年間に避難所15か所に計 75基のマンホールトイレを 備した。		今後は、地域防災計画の改 定等を踏まえて、増設等につ いて検討していく。	5
	避難行動要支援者個別計画の策定	P70	個別計画書の策定済者 数	_	0人	0人	1,172人	1,304人	2,007人	1,500人	©	福祉総務課	避難行動要支援者名簿管理システムにより、新たに名領登録された方に対して同意確認書及び個別計画書作成のための調査票を送付し、回答かあった方の個別計画書を作成した。	名簿登録区分のうち、65歳 以上一人暮らしで名簿登録を 希望する者に対する支援が必	毎年75歳以上一人暮らしの 者に対して同意確認書を送付 し、同意を得ることにより値 別計画書の作成者を増やして いく予定である。	1
	地域みんなでまちづくり会議及び 職員地域担当制の充実	P 70	地域みんなでまちづくり会議の設置数	4区域	6区域	9区域	9区域	9区城	9区域	9区域	©	協働推進課	市内9区域にまちづくり会議を立ち上げ、運営を支援してきた。	会議の内容が固定化される 傾向にあるため、若い人の斬 新な意見や、誰もが気軽に参 加できるような会議に改めて いくことが必要である。	地域担当職員として若手職員を派遣して会議の活性化を図っていく。また、従来の会議を終了し、小学校通学域に 捉われず、誰もが気軽に参加できる場の提供をしていく。	
	(仮称) 協働推進プランの策定	P70	(仮称)協働推進プランの策定	_	検討	検討	検討	検討	検討	策定	Δ	協働推進課	策定に向けて検討を行って きた。	策定支援業務を業者に委託 する場合、予算の確保が必要 となる。	引き続き、策定の必要性も 含めて検討を行っていく。)
	無作為抽出を活用した市民参加制度	P70	制度の導入	_	検討	検討	検討	検討	導入	導入	©	行政経営課	等における公募委員の募集に 関する要綱」及び「附属機関 等における公募委員選定要	制度の導入という目標は達成したが、平成31年4月1日 現在の附属機関等における公 男奏委員割合は約5%となっており、目標とする25%を下 回っていることから、公募委員枠の拡充を図る必要がある。	・ 各課に対して本制度を周知し、積極的に活用することにより、各附属機関等における	

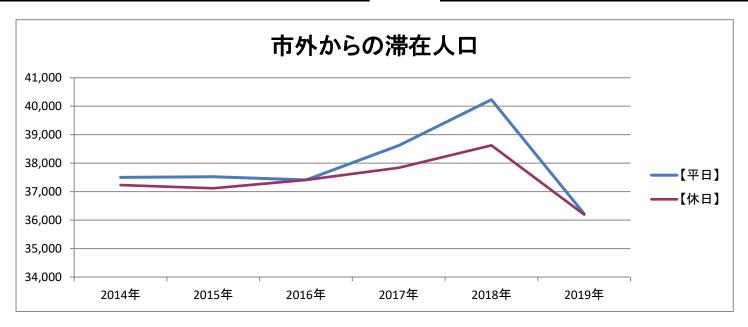
=		40. A 20. mr				K	PI								左記課題を踏まえた令和	
具体的施策	事業名称	総合戦略掲載ページ	指標	平成26年度 (現況値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度 (目標値)	進捗状況	事業課	令和元年度までの取組	目標値達成への課題	2年度以降の予定・計画	備考
			保健師の認知割合	_	15%	ー アンケート調査 未実施	ー アンケート調査 未実施	 アンケート調査 未実施	— アンケート調査 未実施	50%	_	健康推進課	健 (検) 診等や地区活動を 通し市民の様々な相談に応じた。	市民向け講演会等を企画 し、市民の健康増進を考える 専門職がいることを周知す る。	継続して実施する。	
3 健康でい	きいきと暮らせるまちづくり	P71,72	シルパー人材センター会員数	1, 178人	1,143人	1,122人	1,132人	1,092人	1,119人	1,300人	×	福祉総務課	会員確保のため市内公共施設にチラシの設置、市内大型商業施設でシルバーフェスタを開催した。	発注者の希望に該当する会	説明会の開催等、引き続き 会員の確保に努めていくとと もに、研修会により会員の 能習得・向上に努め、講習会 等により高齢者でも作業しや すく安全に就業できることを PRしていく。	
			市民の1年間での運 動・スポーツ実施率	61%	 アンケート調査 未実施	66%	ー アンケート調査 未実施	アンケート調査 未実施	アンケート調査 未実施	68%	_	スポーツ振興課	スポーツ都市宣言事業やスポーツ推進委員協議会、スポーツ協力員連絡会事業により、市民がスポーツを行う機会の提供に努めた。	運動を行うための機会の提供は行えているが、運動をする必要性などの動機付けが課題である。	なつたか、連動・スホーンへ	
	健康教室の実施	P72	参加者数	425人/年	205人/年	187人/年	202人/年	211人/年	164人/年	580人/年	×	健康推進課	健康づくり生き活き運動 塾、ヘルシースリム教室、骨粗しょう症予防教室、ゆがみ 解消ヨガ体操教室、ピラティ ス教室、フットケア教室、 ウォーキング教室を開催し た。	参加者が固定されてきており、新たな参加者の掘り起こし方法等について検討する必要がある。	別さ続さ、川氏ー一人を挺	
	医師、保健師等による健康相談の実施	P72	参加者数	55人/年	26人/年	21人/年	27人/年	15人/年	未実施	120人/年	_	健康推進課	令和元年度から相談日を設けて実施する方法を廃止し、 保健相談センター及び同センターお伊勢の森分室において 保健師等が随時相談を受ける 体制とした。	総合センターにおいて日常的に保健師等が市民からの健	継続して実施する。	
	ゲートキーパーの養成	P72	ゲートキーパーの養成 数	94人	134人	164人	202人	241人	266人	250人	0	健康推進課		る。また、児童・生徒の保護 者、関係団体等に対して広く	継続して実施する。	
	地域スポーツ活動応援事業	P72	市民の1年間での運 動・スポーツ実施率	61%	 アンケート調査 未実施	66%	 アンケート調査 未実施	 アンケート調査 未実施	 アンケート調査 未実施	68%	_	スポーツ振興課	スポーツ都市宣言事業やスポーツ推進委員協議会、スポーツ協力員連絡会事業により、市民がスポーツを行う機会の提供に努めた。	理期を行りための機会の提供は行うているが 海動をす	ばつたが、運動・ヘホーノへ	地方創生先行型事業
	総合型地域スポーツクラブの運営 支援	P72	総合型地域スポーツク ラブ会員数	234人	234人	312人	295人	290人	164人	340人	×	スポーツ振興課	もに、ホームページやSNS	また、小中学校や地域との 連携が課題となる。	及び活動状況等の情報提供を	
	スポーツ少年団の運営支援	P 72	スポーツ少年団登録団体数	_	1団体	1団体	1団体	1団体	3団体	5団体	0	スポーツ振興課	スポーツ少年団への加入促進のため、各団体への通知・ 説明等を行なった。 スポーツ大会への参加、指導者育成事業参加支援を行った。	スポーツ少年団への登録を 推進するため、スポーツ少年 団本部の体制強化を図り、本 事事業内容の見直し・検討等 が必要となる。	スポーツ少年団向けに、少年 少女スポーツ向けの魅力ある 講演会等を開催し、少年団へ の登録を促していく。	

		総合業政				K	PΙ				Michael Hear	-La VIII am	A		左記課題を踏まえた令和	111. 14
具体的施策	事業名称	総合戦略掲載ページ	指標	平成26年度 (現況値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度 (目標値)	進捗状況	事業課	令和元年度までの取組	目標値達成への課題	2年度以降の予定・計画	備考
4 住み続け	られるまちづくり	P73	在宅医療・介護連携支援センターの設置	_	未設置	設置	設置	設置	設置	設置	©	高齢福祉課	平成28年度に医療機関及び 介護事業所の関係機関等の連 携を推進する「在宅医療・介 護連携支援センター」を設置 し在宅医療・介護連携に関する相談支援等運営を開始し た。	センターの活用及び在宅医療・介護連携の推進にかかる 各種取組の実施・周知		
	在宅医療・介護連携支援センター の設置	P73	センターの設置		未設置	設置	設置	設置	設置	設置	0	高齢福祉課	平成28年度に医療機関及び介護事業所の関係機関等の連携を推進する「在宅医療・介護連携支援センター」を設置し在宅医療・介護連携に関する相談支援等運営を開始した。		・「介護と医療連携マップ」 及び「在宅医療・介護資源 マップ(Web版)」の活用を センターを通じて推進する。 ・地域住民や専門職向けに、 在宅療養に関する講演会等を 開催する。	
	生活支援コーディネーターの配置	P73	配置人数	_	1人(第1層)	1人(第1層)	5人	5人	5人	4人	0	高齢福祉課	平成28年度に市全域を担当 する第1層生活支援コーディ ネーターを、平成29年度には 各日常生活圏域を担当する第 2層生活支援コーディネー ターを配置済である。	材になし	引き続き、市、第1層生活 支援コーディネーター、第2 層生活支援コーディネーター が連携し、地域課題の把握、 資源開発等を行い住民サービ スの向上に努める。	

市外からの滞在人口

- !	ク ウ v 1 iii	<u> </u>				
	【平日】	4時	10時	14時	20時	合計
	2014年	1, 614	13, 664	16, 274	5, 947	37, 499
	2015年	1, 748	13, 423	16, 261	6, 090	37, 522
	2016年	1, 887	13, 515	16, 006	6, 003	37, 411
	2017年	2, 393	13, 529	16, 202	6, 494	38, 618
	2018年	2, 996	13, 872	16, 658	6, 703	40, 229
	2019年	2, 360	12, 726	15, 212	5, 921	36, 219

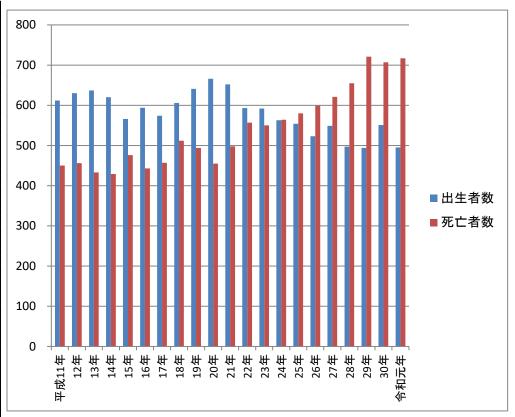
【休日】	4時	10時	14時	20時	合計
2014年	1, 681	10, 527	17, 383	7, 638	37, 229
2015年	1, 816	10, 325	17, 284	7, 693	37, 118
2016年	1, 904	10, 599	17, 321	7, 587	37, 411
2017年	2, 350	10, 495	17, 188	7, 803	37, 836
2018年	2, 671	10, 945	16, 951	8, 058	38, 625
2019年	2, 246	10, 183	16, 445	7, 320	36, 194



※ 2014年の数値は9月から12月までの平均値

出生者数・死亡者数の状況(武蔵村山市)

	出生者数	死亡者数	差引	人口	65歳以上 の人口	高齢化率
平成11年	612	450	162	66, 235	7,801	11.8%
12年	630	456	174	65, 911	8, 189	12.4%
13年	637	433	204	65, 871	8,645	13.1%
14年	620	429	191	65, 933	9, 104	13.8%
15年	566	476	90	65, 938	9, 730	14.8%
16年	594	443	151	65, 845	10, 189	15.5%
17年	574	457	117	66, 226	10,698	16. 2%
18年	606	512	94	67, 363	11, 433	17.0%
19年	641	494	147	67,886	12,094	17.8%
20年	666	455	211	68, 602	12, 794	18.6%
21年	652	498	154	69, 491	13, 538	19.5%
22年	593	557	36	70, 075	14, 168	20.2%
23年	592	550	42	70, 469	14, 515	20.6%
24年	563	564	▲ 1	70, 770	14, 993	21.2%
25年	554	580	▲ 26	72, 101	15, 746	21.8%
26年	523	599	▲ 76	72, 169	16, 487	22.8%
27年	549	621	▲ 72	72, 092	17, 226	23.9%
28年	497	655	▲ 158	72, 243	17, 784	24.6%
29年	494	721	▲ 227	72, 238	18, 288	25.3%
30年	551	707	▲ 156	72, 489	18, 589	25.6%
令和元年	495	717	▲ 222	72, 546	18, 833	26.0%

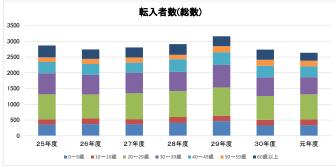


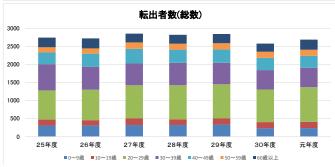
(住民基本台帳)

転入者数・転出者数の状況(武蔵村山市)

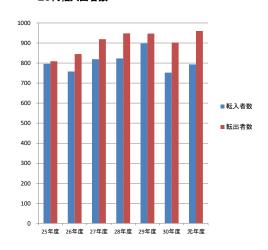
転入者数		25年度			26年度			27年度			28年度			29年度			30年度			元年度	
年齡区分	総数	転入(男)	転入(女)																		
0~9歳	357	197	160	370	207	163	363	193	170	409	198	211	464	239	225	327	182	145	338	171	167
10~19歳	164	83	81	186	87	99	167	97	70	187	95	92	174	87	87	180	82	98	186	97	89
20~29歳	796	427	369	758	387	371	819	412	407	823	417	406	898	429	469	752	384	368	793	399	394
30~39歳	666	367	299	619	339	280	653	362	291	611	324	287	714	390	324	598	329	269	544	301	243
40~49歳	360	205	155	345	202	143	321	187	134	399	243	156	397	246	151	364	208	156	343	209	134
50~59歳	148	86	62	163	92	71	165	100	65	143	78	65	199	112	87	192	111	81	180	104	76
60歳以上	376	163	213	299	133	166	317	133	184	338	151	187	313	150	163	323	161	162	252	105	147
合計	2,867	1,528	1,339	2,740	1,447	1,293	2,805	1,484	1,321	2,910	1,506	1,404	3,159	1,653	1,506	2,736	1,457	1,279	2,636	1,386	1,250

転出者數		25年			26年			27年			28年			29年			30年			元年度	
年齢区分	総数	転出(男)	転出(女)																		
0~9歳	304	153	151	302	154	148	318	161	157	319	163	156	331	171	160	226	107	119	235	137	98
10~19歳	166	96	70	152	86	66	183	91	92	155	87	68	170	91	79	175	88	87	173	71	102
20~29歳	809	410	399	845	423	422	919	460	459	948	477	471	947	474	473	902	467	435	960	483	477
30~39歳	726	425	301	635	357	278	605	345	260	620	338	282	595	325	270	539	289	250	539	292	247
40~49歳	325	203	122	361	208	153	405	245	160	366	213	153	372	236	136	340	210	130	331	189	142
50~59歳	143	83	60	147	88	59	177	112	65	164	94	70	170	99	71	168	100	68	168	106	62
60歳以上	268	112	156	277	118	159	243	106	137	247	116	131	256	128	128	226	99	127	278	122	156
合計	2,741	1,482	1,259	2,719	1,434	1,285	2,850	1,520	1,330	2,819	1,488	1,331	2,841	1,524	1,317	2,576	1,360	1,216	2,684	1,400	1,284
												1								(住民	基本台帳)





20代転入出者数



【全体】

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
転入者数	2,867	2,740	2,805	2,910	3,159	2,736	2,636
転出者数	2,741	2,719	2,850	2,819	2,841	2,576	2,684
転入-転出	126	21	▲ 45	91	318	160	▲ 48

【10歳未満】

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
転入者数	357	370	363	409	464	327	338
転出者数	304	302	318	319	331	226	235
転入-転出	53	68	45	90	133	101	103

【10代】

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
転入者数	164	186	167	187	174	180	186
転出者数	166	152	183	155	170	175	173
転入-転出	▲ 2	34	▲ 16	32	4	5	13

【20代】

	120103							
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
	転入者数	796	758	819	823	898	752	793
	転出者数	809	845	919	948	947	902	960
	転入-転出	▲ 13	▲ 87	▲ 100	▲ 125	▲ 49	▲ 150	▲ 167

[30代]

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
転入者数	666	619	653	611	714	598	544
転出者数	726	635	605	620	595	539	539
転入-転出	▲ 60	▲ 16	48	A 9	119	59	5

【40代】

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
転入者数	360	345	321	399	397	364	343
転出者数	325	361	405	366	372	340	331
転入-転出	35	▲ 16	▲ 84	33	25	24	12

【50代】

[00]6]										
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
転入者数	148	163	165	143	199	192	180			
転出者数	143	147	177	164	170	168	168			
転入-転出	5	16	▲ 12	▲ 21	29	24	12			

【60代以上】

1001000							
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
転入者数	376	299	317	338	313	323	252
転出者数	268	277	243	247	256	226	278
転入-転出	108	22	74	91	57	97	▲ 26